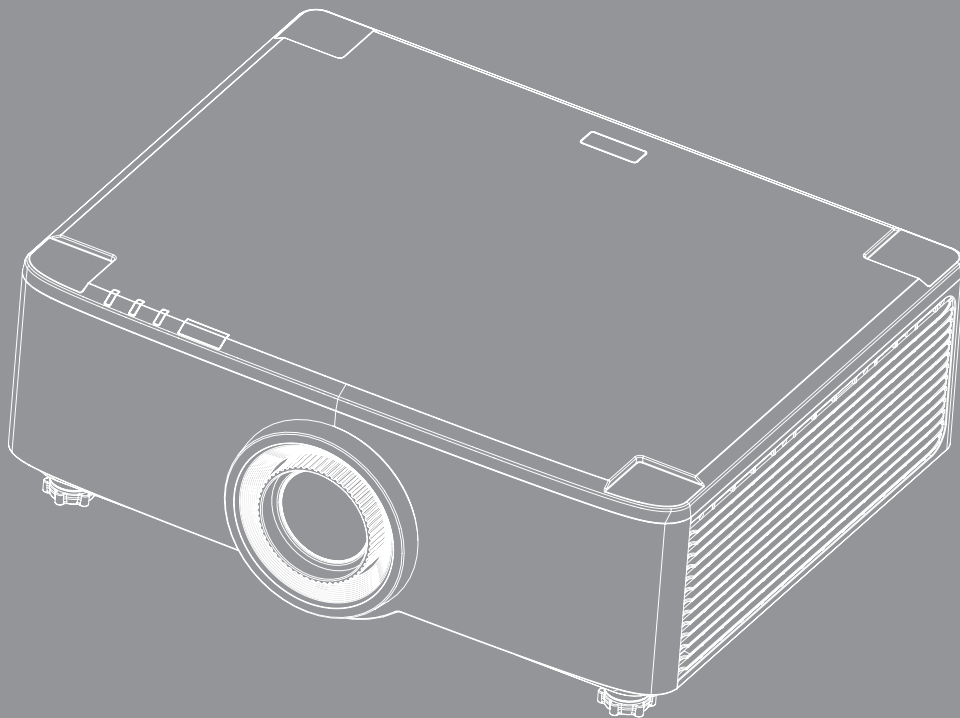




# WUXGAレーザーDLPプロジェクター

ZU720T 取扱説明書(保証書付)



# 目次

<b>安全 .....</b>	<b>4</b>
安全に関するご注意 .....	4
レンズの清掃 .....	5
レーザー安全情報 .....	6
3D 安全情報 .....	7
著作権 .....	7
免責条項 .....	7
商標認識 .....	8
FCC 通告 .....	8
EU 諸国への適合宣言 .....	8
WEEE .....	9
 <b>はじめに .....</b>	 <b>10</b>
パッケージの内容 .....	10
標準アクセサリ .....	10
製品の各部名称 .....	11
接続 .....	12
キーパッドおよび LED インジケーター .....	13
リモコン .....	14
 <b>設定と設置 .....</b>	 <b>16</b>
ソースをプロジェクターに接続する .....	16
プロジェクターの画像を調整する .....	17
投影画像シフトを調整する .....	18
プロジェクターのズームおよびフォーカスを調整する .....	21
プロジェクターの位置を調整する .....	22
リモコンの準備 .....	23
 <b>プロジェクターを使用する .....</b>	 <b>25</b>
プロジェクターの電源オン/オフ .....	25
ホーム画面の概要 .....	28
システム日時 .....	28
プロジェクター設定メニュー (OSD) .....	29
システム設定メニュー .....	47
入力ソースを選択する .....	56
アプリの選択 .....	57
マルチメディアモードとサポートされているマルチメディア形式 .....	58
ステータスバーの表示 .....	63



追加情報 ..... 64

対応解像度..... 64

RS232 ポート設定と信号接続..... 66

ダストの掃除..... 67

イメージサイズと投写距離表..... 68

天井への取り付け..... 70



トラブルシューティング ..... 71

LED 点灯メッセージ..... 73

仕様 ..... 74

保証書..... 75

# 安全

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス（修理点検など）に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

## 安全に関するご注意



- 光線を目に入れないでください (RG2)。  
あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に入れないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    - (i) 室温が 5°C ~ 40°C (41°F ~ 104°F) の範囲に保たれていることを確認します
    - (ii) 相対湿度は 10% ~ 85% の範囲です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです (ただしこれらに限定されません):
  - 装置を落とした。
  - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
  - プロジェクターに液体をこぼした。
  - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
  - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。

- ・ プロジェクターの使用、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- ・ プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- ・ お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前にオーエス テクニカルサポートセンターにお電話ください。
- ・ 安全に関係する注意書きについては、プロジェクターの本体をご覧ください。
- ・ 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。
- ・ メーカー指定の付属品/アクセサリのみをご使用ください。
- ・ プロジェクターの使用、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- ・ プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- ・ 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ・ ディスプレイの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- ・ 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- ・ レンズを素手で触らないでください。
- ・ 保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- ・ 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- ・ プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- ・ 電源ストリップ、および/または、サージプロテクタを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。

## レンズの清掃

- ・ レンズを清掃する前に、必ず、プロジェクターの電源を切り、電源コードを切断し、完全に冷却させてください。
- ・ 埃を取り除くために、掃除機などを使用してください。
- ・ レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズを指で触らないでください。
- ・ レンズの清掃に、アルカリ性/酸性の溶剤またはアルコールなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。清掃処理により、レンズが損傷した場合、保証の対象とはなりません。



### 警告

- ・ レンズから埃または汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクター内部の過度の熱より、火災が発生する可能性があります。
- ・ レンズ表面のフィルムが剥がれる可能性がありますので、プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。
- ・ 硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。
- ・ お子様の目線より上に設置してください。お子様の目線の上に設置する場合、この製品と共に天井マウントを使用することをお勧めします。

"WARNING: MOUNT ABOVE THE HEADS OF CHILDREN."  
**Additional warning against eye exposure for close exposures less than 1 m.**  
 "AVERTISSEMENT : INSTALLER AU-DESSUS DE LA TÊTE DES ENFANTS."  
 Avertissement supplémentaire contre l'exposition oculaire pour des expositions à une distance de moins de 1 m.  
 "警告：安装在高于孩童头顶处"  
 关于小于1 m近距离眼睛暴露的附加警告  
 「警告：安装在高於兒童頭部處」  
 針對 1 m 以下近距離眼睛接觸的額外警告

## レーザー安全情報

“ IEC 62471-5:Ed.1.0 で定義されているリスクグループ 2 LIP としての適合性を除き、21 CFR 1040.10 および 1040.11 に準拠しています。詳細については、2019 年 5 月 8 日付のレーザー通知第 57 号を参照してください。IEC 60825-1:2014: クラス 1 レーザー製品 - リスクグループ 2

	IEC/EN 60825-1:2014 CLASS 1 LASER PRODUCT RISK GROUP 2 Complies with 21 CFR 1040.10 and 1040.11 except for conformance as a Risk Group 2 LIP as defined in IEC 62471-5:Ed. 1.0. For more information see Laser Notice No. 57, dated May 8, 2019.
	IEC/EN 60825-1:2014 PRODUIT LASER DE CLASSE 1 GROUPE DE RISQUE 2 Conforme aux normes 21 CFR 1040.10 et 1040.11, à l'exception de la conformité en tant que LIP du groupe de risque 2 définie dans la CEI 62471-5: Ed. 1,0. Pour plus d'informations, voir l'avis au laser n° 57 du 8 mai 2019.
	IEC/EN 60825-1:2014 1類激光產品RG2危險等級 除了IEC 62471-5:Ed.1.0中定義的RG2 LIP 危險等級以外，要符合21 CFR 1040.10和1040.11，更多相關資訊，請參閱2019年5月8日的第57號激光公告。
	IEC/EN 60825-1:2014 1类激光产品RG2危險等級 除了IEC 62471-5:Ed.1.0中定义的RG2 LIP 危險等級以外，要符合21 CFR 1040.10和1040.11，更多相关信息，请参阅2019年5月8日的第57号激光公告。

- 本製品には、クラス 4 レーザーモジュールが内蔵されています。分解または改造は非常に危険ですので、絶対に試みないでください。
- ユーザーガイドに具体的に記載されていない操作または調整は、危険なレーザー放射曝露を引き起こす可能性があります。
- レーザー放射曝露による存在を引き起こす可能性がありますので、プロジェクターを開いたり、分解したりしないでください。
- プロジェクターがオンの間、光線を凝視しないでください。明るい光により、目が恒久的に損傷する可能性があります。
- プロジェクターの電源を入れるときは、レンズを見れる投影範囲に人がいないことを確認してください。
- 制御、調整、操作手順を遵守しないと、レーザー放射曝露により、損害が発生する可能性があります。
- クラス 2 のアクセス可能放射制限を超過するレーザーおよび二次放射への曝露を防止し、注意事項に関連する明確な警告を含む組立、操作、保守に対する十分な指示事項。
- クラス A デジタル機器は、カナダ電波障害発生機器規約の全ての条件を満たしています。電波障害発生機器規約。
- Cet appareil numérique de la class A respecte toutes les exigences du Reglement sur le materiel brouilleur du Canada.
- お子様を監視し、プロジェクターから離れた場所でプロジェクターの光線を凝視しないように注意してください。
- 投影レンズの前でリモコンを使用してプロジェクターを起動する場合は注意してください。
- ビーム内で双眼鏡や望遠鏡などの光学器具を使用しないようにユーザーに通知してください。

## 3D 安全情報

推奨されるすべての警告と安全上の注意に従った上で、ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用ください。

### 警告

幼児及び 10 代の方は、3D 鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

## 光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- プロジェクターの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D 機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の 3D 機能のご使用はお控えください。
- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに 3D 画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください: (1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4) 眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5) 混乱状態、(6) 吐き気、(7) 意識喪失、(8) 痙攣、(9) 急激な腹痛、及び (又は) (10) 見当識障害。幼児及び 10 代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。お子様については、これらの症状が出ていないか注意してください。
- 3D 投影の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低 30 分はご使用をお控えください。
- 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 投影を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低 3 倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- 3D 眼鏡をかけながらの長時間にわたる 3D 投影の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D 投影の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D 投影の鑑賞以外の目的での 3D 眼鏡のご使用はお止めください。
- その他目的 (通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど) のための 3D 眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D 投影の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に 3D プロジェクターを設置しないでください。

## 著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2020

## 免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にはないものとします。



## 商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

IBM は International Business Machines, Inc の商標または登録商標です。

Microsoft、PowerPoint、Windows は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

HDBaseT™ および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の商標です。

Adobe と Acrobat は Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

## FCC 通告

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします

- (1) 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
- (2) 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

本装置は、FCC 規則パート 15 に準ずるクラス A のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、装置が商業環境で操作されたときに有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は高周波エネルギーを生成して使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、取扱説明書に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

住宅地で本装置を操作すると、有害な干渉を引き起こす可能性があります。その場合、ユーザーは自己負担で干渉を修正する必要があります。

## 注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

### 注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

### 運転状況

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします:

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

### 注意: カナダにお住まいのユーザーへ

本クラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

## EU 諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EC
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)

## WEEE



### 廃棄物についての指示

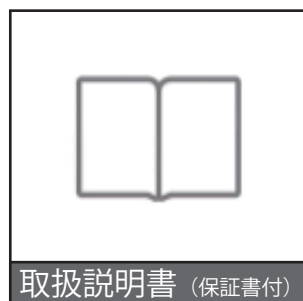
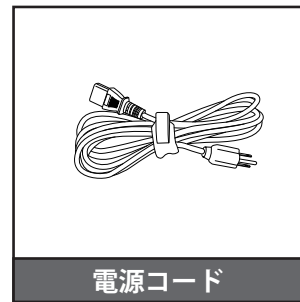
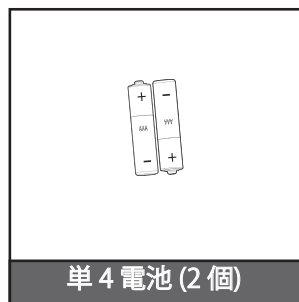
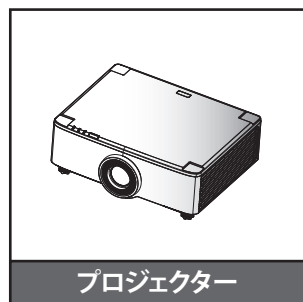
当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルしてください。

# はじめに

## パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、下の標準アクセサリに記載されている品目が揃っていることを確認してください。

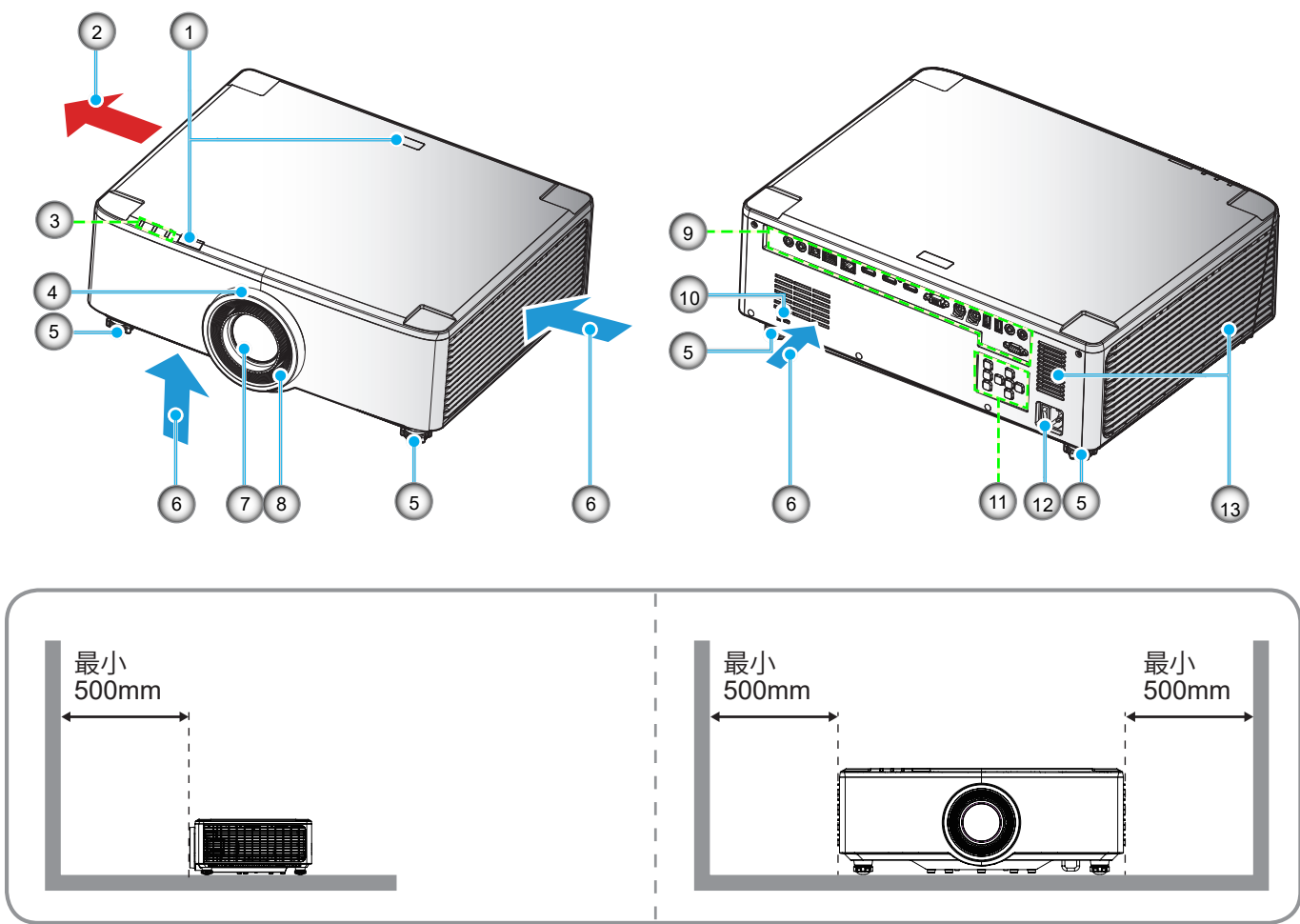
## 標準アクセサリ





# はじめに

## 製品の各部名称

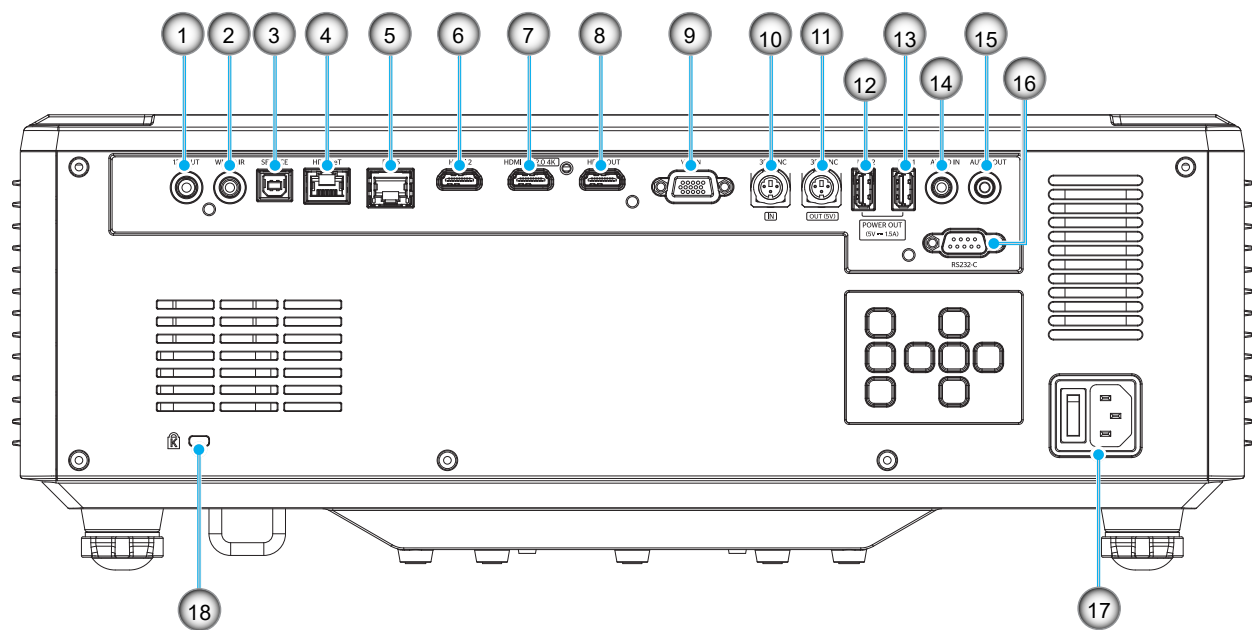


- 注記:**
- プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。
  - プロジェクターを閉じられた空間で操作するときは、吸気口および排気口を少なくとも 50cm (19 インチ) 隙間をあけてください。

番号	項目	番号	項目
1.	IR レシーバー	8.	フォーカスリング
2.	換気 (排気口)	9.	入/出力
3.	LED インジケーター	10.	Kensington™ ロックポート
4.	ズームリング	11.	コントロールパネル
5.	チルト調整フット	12.	電源ソケット/電源スイッチ
6.	換気 (吸気口)	13.	スピーカー
7.	投影レンズ		

# はじめに

## 接続

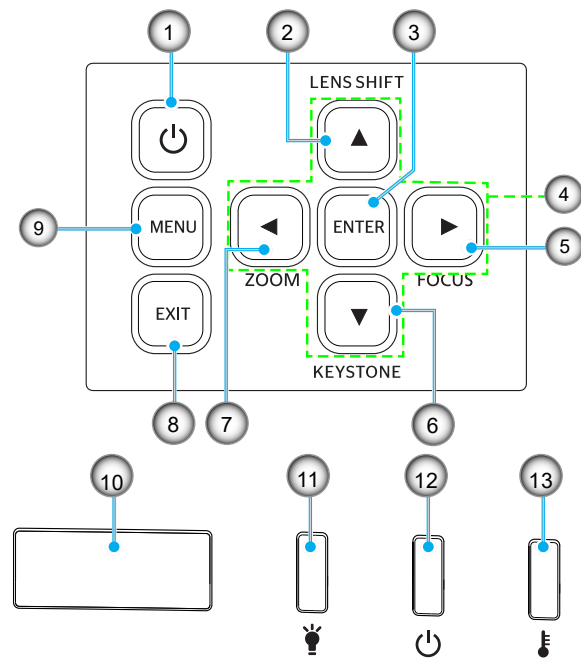


番号	項目	番号	項目
1.	12V 出力端子	10.	3D 同期入力端子
2.	有線 IR 端子	11.	3D 同期出力端子
3.	サービス端子 (ファームウェアアップグレード用のみ)	12.	USB 2 端子 (電源 5V⇄1.5A)(*)
4.	HDBaseT 端子	13.	USB 1 端子 (電源 5V⇄1.5A)(*)
5.	RJ-45 端子	14.	オーディオ入力端子
6.	HDMI 2 端子	15.	オーディオ出力端子
7.	HDMI 1 端子 (HDMI v2.0 4K)	16.	RS232 端子
8.	HDMI 出力端子 (**)	17.	電源ソケット/電源スイッチ
9.	VGA 入力端子	18.	Kensington™ ロックポート

**注記:** (\*) 携帯電話の充電用には推奨されません。  
(\*\*) HDMI1 を介する HDMI 出力ループのみ。

# はじめに

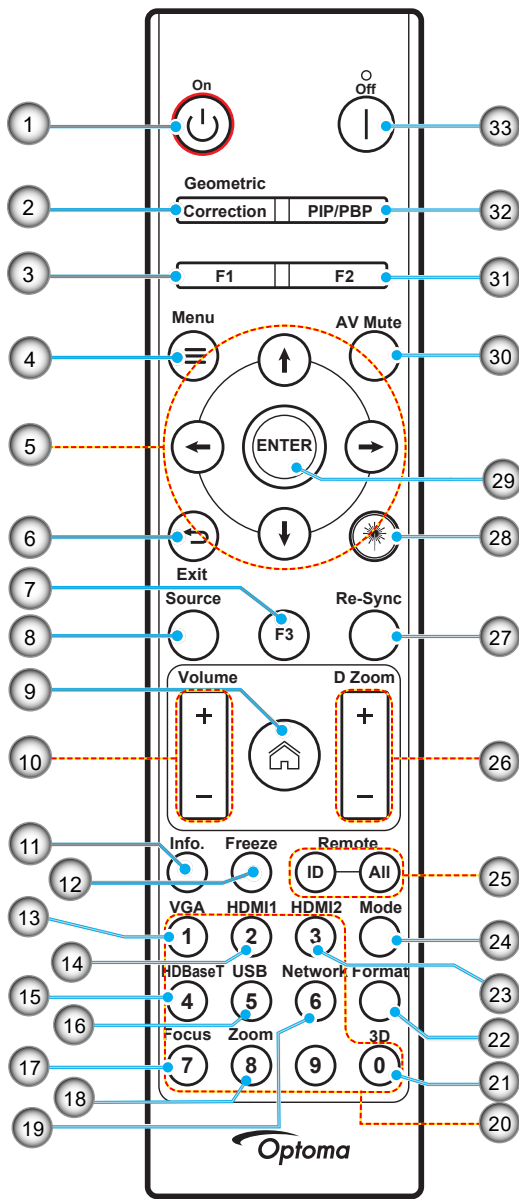
## キーパッドおよび LED インジケーター



番号	項目	番号	項目
1.	電源ボタン	8.	戻る
2.	レンズシフト	9.	メニュー
3.	入力	10.	IR レシーバー
4.	4 方向選択キー	11.	ライト LED
5.	フォーカス (サポート外)	12.	電源 LED
6.	キーストーン補正	13.	温度 LED
7.	ズーム (サポート外)		









# はじめに

## リモコン



番号	項目	項目
1.	電源オン	「プロジェクターの電源オン/オフ」のセクション (25 ~ 27 ページ) を参照してください。
2.	幾何学補正	「幾何学補正」を押して、幾何学補正メニューを起動します。 4 方向選択キーを使用して、水平キーストーン/垂直キーストーン/4 コーナー/リセットを行います。
3.	ファンクションボタン (F1) (割り当て可能)	「F1」を押して、機能を有効にします。
4.	メニュー	「」を押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを起動します。
5.	4 方向選択キー	を使用して、項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
6.	戻る	現在のページを終了して、前のページに戻ります。
7.	ファンクションボタン (F3) (割り当て可能)	「F3」を押して、機能を有効にします。
8.	ソース	「ソース」を押して、入力信号を選択します。

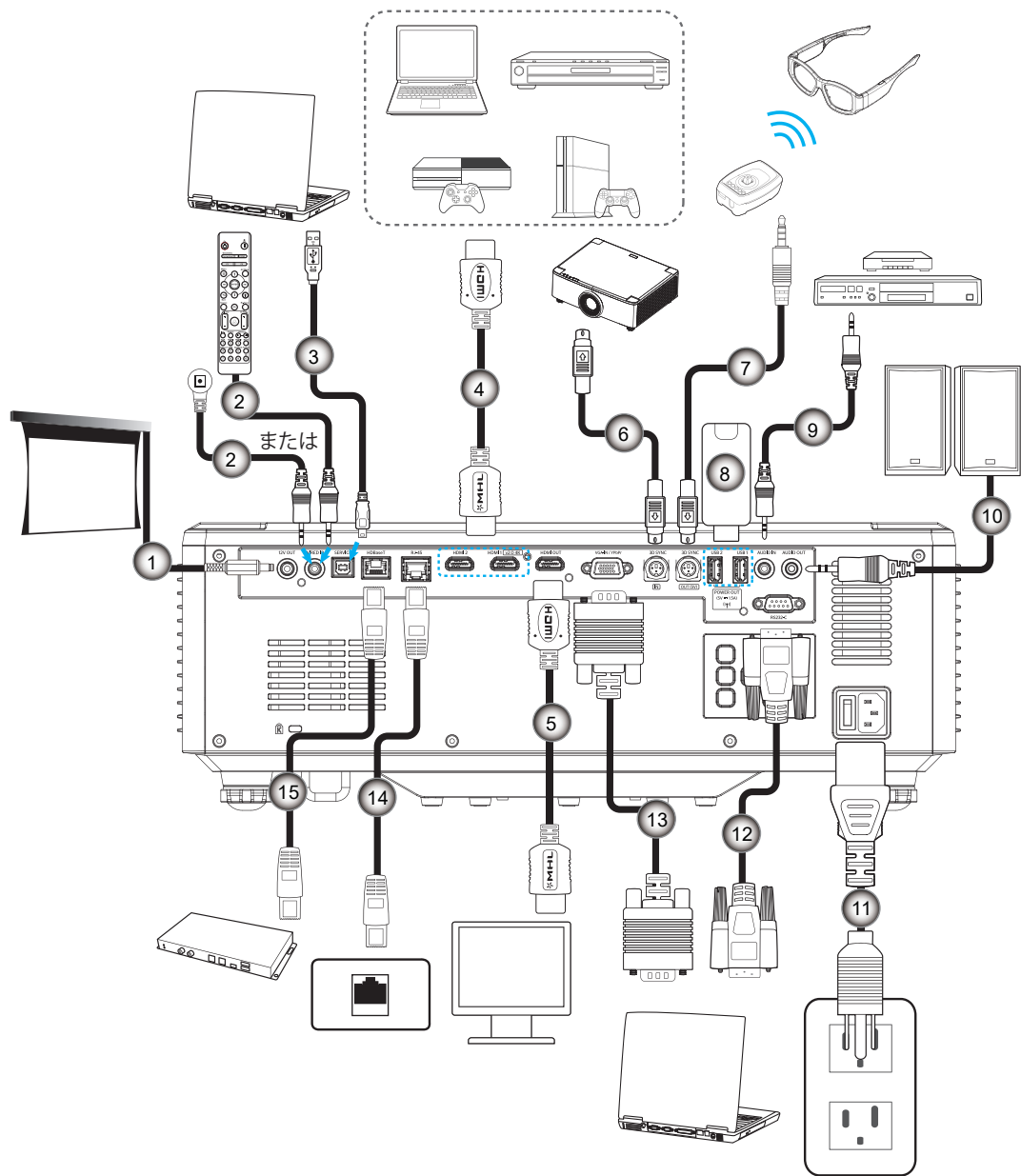
# はじめに

番号	項目	項目
9.	ホーム 	「  」を押して、ランチャーホームに切り替えます。
10.	音量 +/-	音量の増減を調整します。
11.	情報	プロジェクター情報を表示します。
12.	フリーズ	画面画像を一時停止します。もう一度押して、画面画像を再開します。
13.	VGA	「VGA」を押して、VGA 入力ソースに切り替えます。
14.	HDMI1	「HDMI1」を押して、HDMI 1 入力ソースに切り替えます。
15.	HDBaseT	「HDBaseT」を押して、HDBaseT ソースに切り替えます。
16.	USB	「USB」を押して、USB 入力ソースに切り替えます。
17.	フォーカス	「フォーカス」および  またはリモコンの  ボタンを押して、投影画像のフォーカスを調整します (サポート外)。
18.	ズーム	「ズーム」および  またはリモコンの  ボタンを押して、投影画像サイズをズームします (サポート外)。
19.	ネットワーク	「ネットワーク」を押して、ネットワーク設定を構成します。
20.	テンキー (0 ~ 9)	テンキーの数字「0 ~ 9」 として使用します。
21.	3D	「3D」を押して、3D ソースに切り替えます。
22.	フォーマット	「フォーマット」を押して、さまざまなアスペクト比を設定します。
23.	HDMI2	「HDMI2」を押して、HDMI 2 入力ソースに切り替えます。
24.	モード	「モード」を押して、ディスプレイモードを選択します。
25.	リモート ID/リモート全部	リモート ID キーを 3 秒間長押しして ID 設定モードに入り、テンキーを押して、リモート ID を設定します。
26.	デジタルズーム +/-	投影される画像を拡大/縮小します。
27.	再同期	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。
28.	レーザー 	<p>リモコンをスクリーンの向け、「レーザー」キーを長押しして、レーザー光をアクティブにします。</p> <p> 警告: レーザーがアクティブであるとき、レーザーを見ないようにしてください。レーザーを自分の目に向けないでください。</p>
29.	入力	選択した項目を確定します。
30.	AV 消音	「AVミュート」を押して、一時的にオーディオとビデオのオン/オフを切り替えます。
31.	ファンクションボタン (F2) (割り当て可能)	「F2」を押して、機能を有効にします。
32.	PIP/PBP メニュー	「PIP/PBP」を押して、PIP/PBP メニューを起動します。
33.	電源オフ	「プロジェクターの電源オン/オフ」のセクション (25 ~ 27 ページ) を参照してください。

**注記:** これらの機能をサポートしていないモデルの場合、一部のキーが機能しないことがあります。

# 設定と設置

## ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目
1.	12Vトリガー
2.	有線リモコンケーブルまたはIRレーザーケーブル
3.	USB (A - B) ケーブル (サービスのみ)
4.	HDMI ケーブル
5.	HDMI ケーブル

番号	項目
6.	ミニ DIN 3 ピンケーブル
7.	ミニ DIN 3 ピンケーブル
8.	USB フラッシュドライブ
9.	オーディオ入力ケーブル
10.	オーディオ出力ケーブル

番号	項目
11.	電源コード
12.	RS232 ケーブル
13.	VGA ケーブル
14.	RJ-45 ケーブル
15.	RJ-45 ケーブル

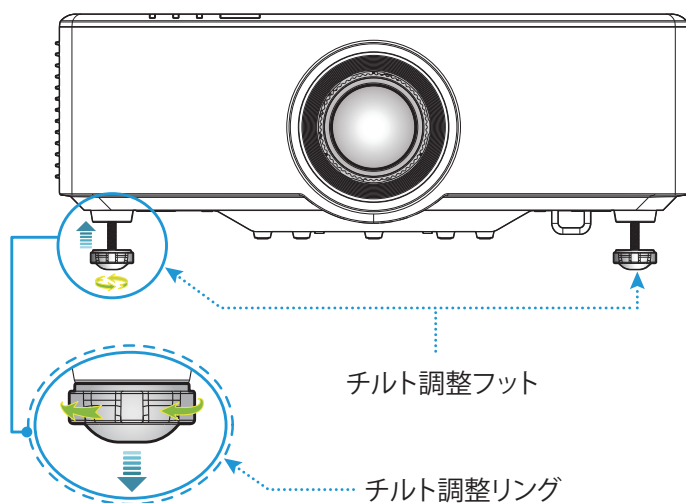
# 設定と設置

## プロジェクターの画像を調整する

### プロジェクターの高さを調整する

本プロジェクターには、投影映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面の変更したい調整フットを探します。
2. 調整フットを時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



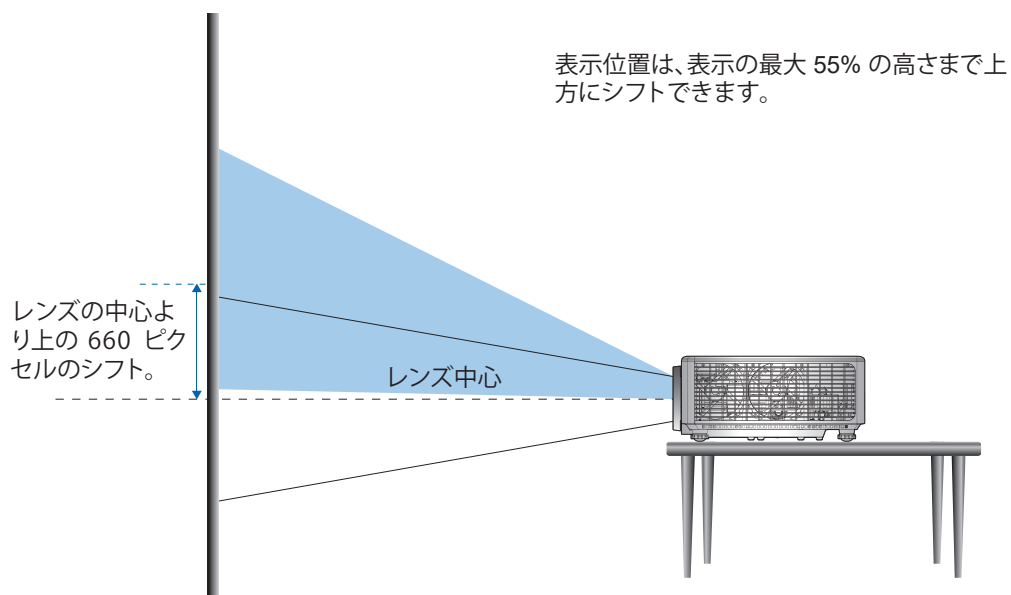
# 設定と設置

## 投影画像シフトを調整する

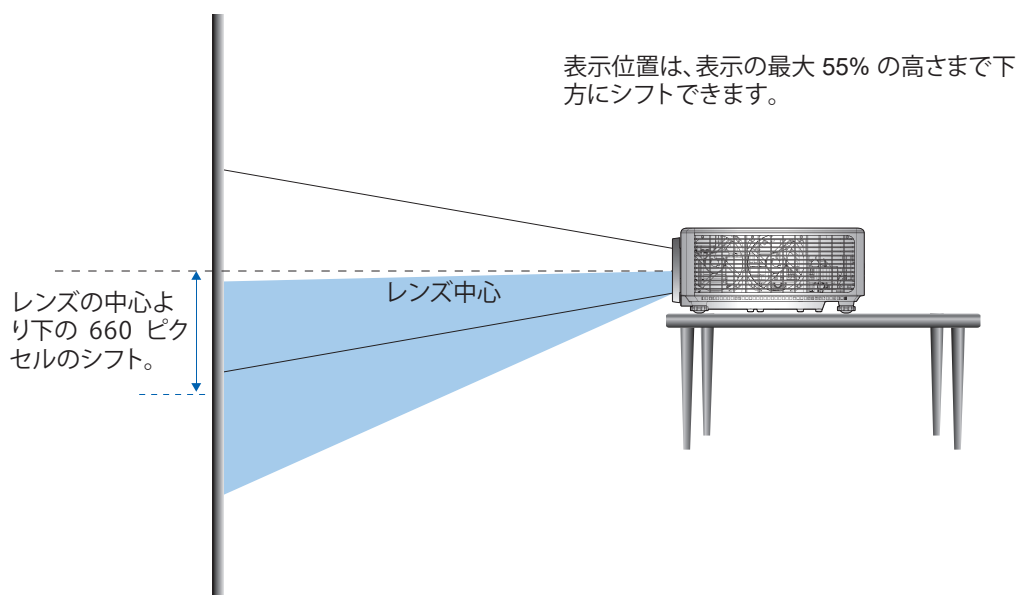
モーター駆動のレンズシフト機能により、投影レンズを上下左右に移動できます。この機能により、スクリーン上での画像の配置が容易になります。レンズシフトは通常、画像の高さまたは幅のパーセンテージとして表されます。下図を参照してください。

### 垂直/水平レンズシフト

レンズが上端にシフトした場合:



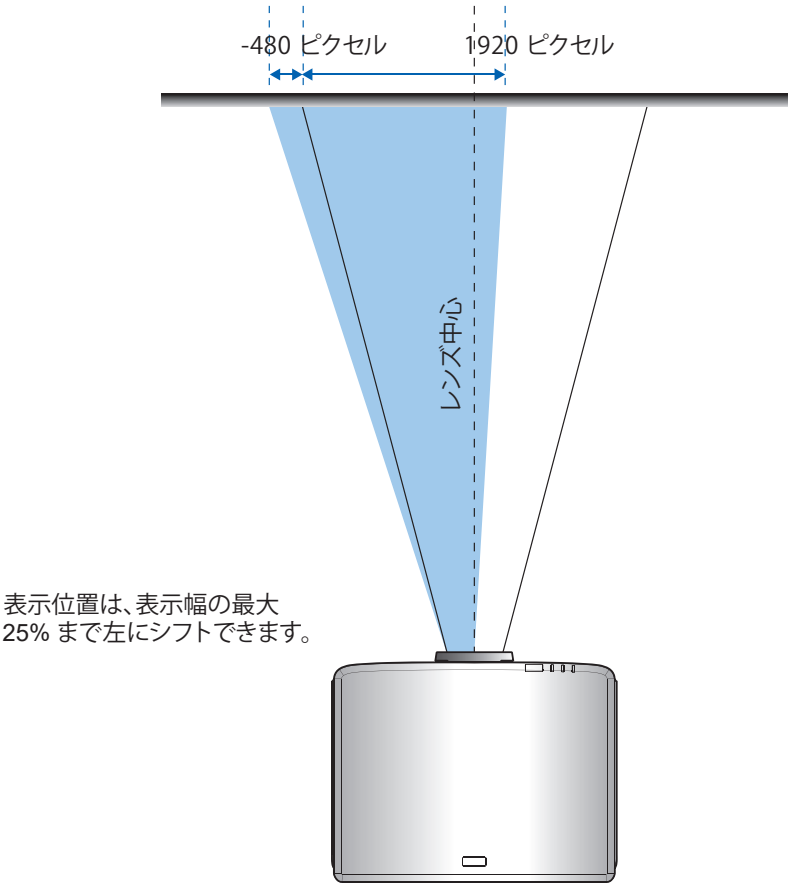
レンズが下端にシフトした場合:



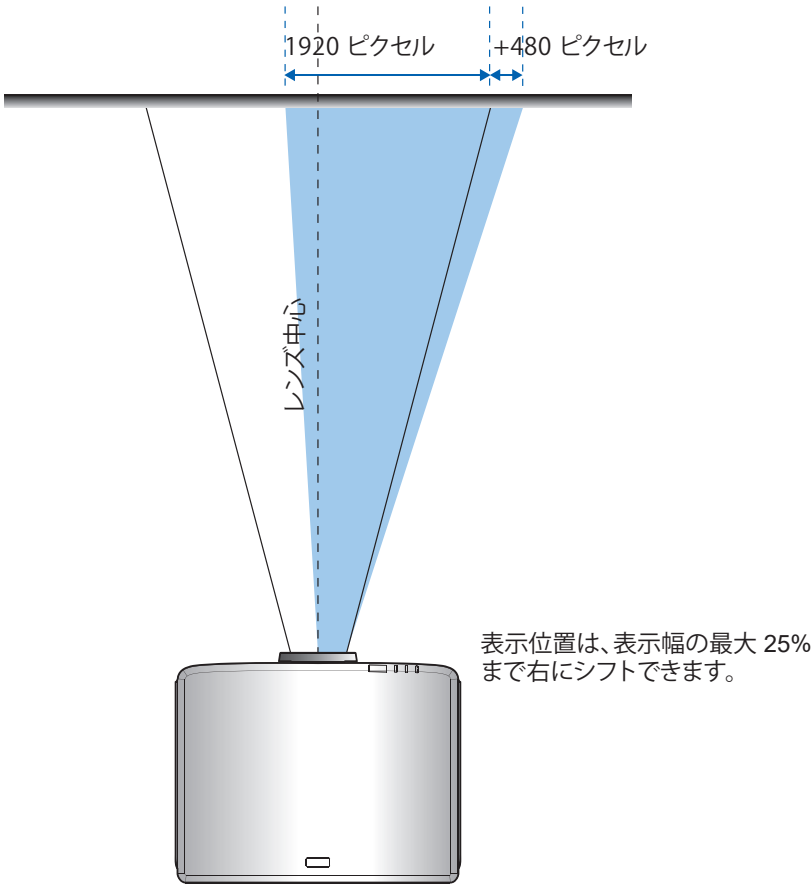


# 設定と設置

レンズが左端にシフトした場合:



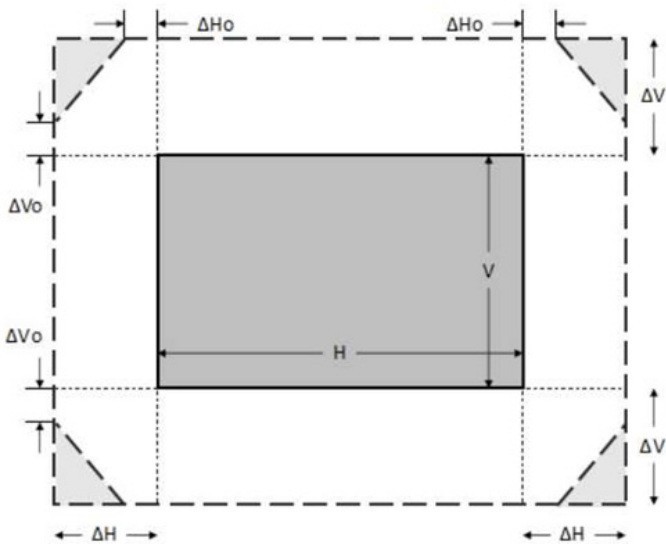
レンズが右端にシフトした場合:



# 設定と設置

## レンズシフト範囲

ZU720T	レンズシフト範囲			
	$\Delta H$	$\Delta V$	$\Delta H_0$	$\Delta V_0$
WUXGA	25%	55%	4%	12%



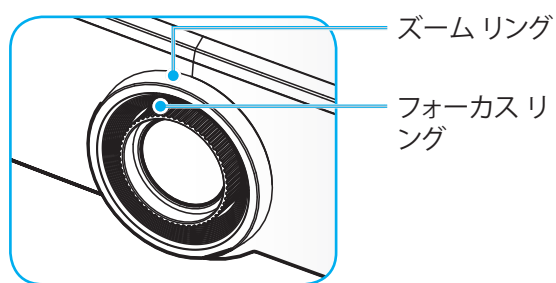
### 注記:

- a)  $\Delta H$ : レンズが中央にあるときの水平方向のレンズシフト範囲。
- b)  $\Delta V$ : レンズが中央にあるときの垂直方向のレンズシフト範囲。
- c)  $\Delta H_0$ : レンズが上部中央または下部中央にある場合、水平方向にケラレのないレンズシフト範囲。
- d)  $\Delta V_0$ : レンズが右中央または左中央にある場合、垂直方向にケラレのないレンズシフト範囲。

# 設定と設置

## プロジェクターのズームおよびフォーカスを調整する

- フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に手で回します。プロジェクターは、1.17 m ～ 16.47 m (46.1 ～ 648.4 インチ) の範囲に焦点を合わせます。
- 画像の大きさを調整するには、ズームレバーを時計方向または反時計方向に手で回し、投影される画像の大きくまたは小さくします。



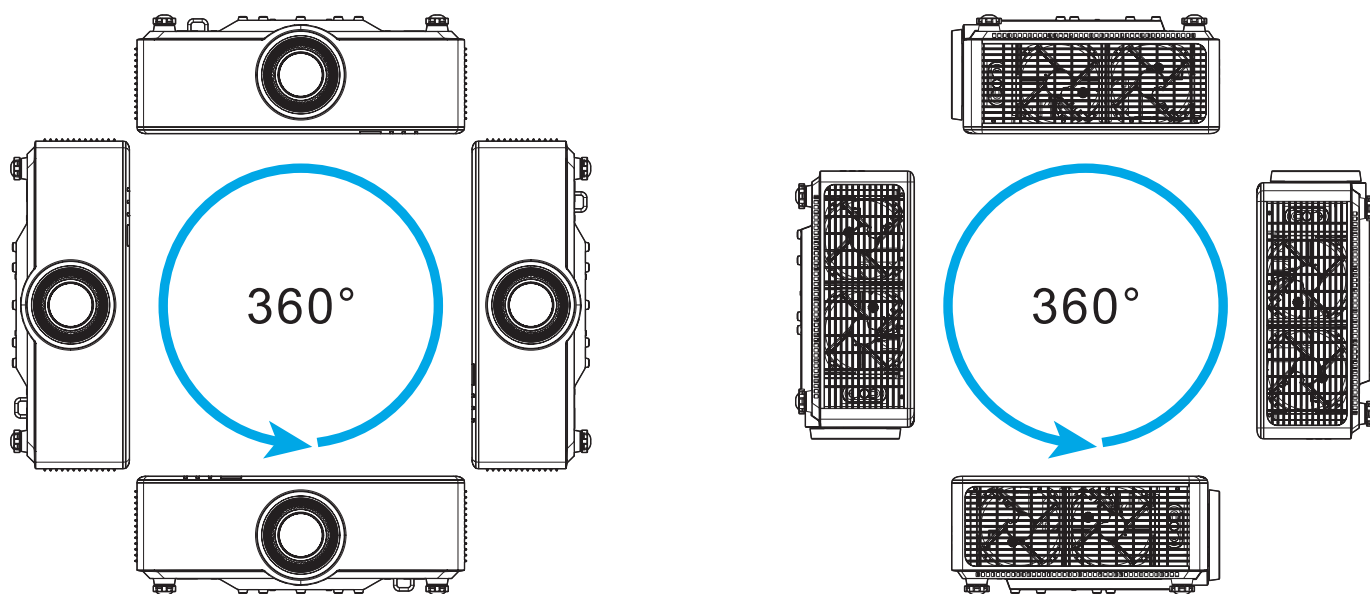
# 設定と設置

## プロジェクターの位置を調整する

プロジェクターの設置位置を選択する場合は、スクリーンのサイズと形状、コンセントの位置、プロジェクターと残りの装置との間の距離を考慮してください。

次の一般的なガイドラインに従ってください：

- プロジェクターをスクリーンに対して直角に平らな面に置いてください。投影スクリーンから少なくとも 1.02 m (40 インチ) 離れている必要があります。
- プロジェクターをスクリーンから希望する距離に配置してください。プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離、ズーム設定、およびビデオ形式によって、投影される画像のサイズが決まります。
- レンズスロー比: 1.44 ~ 2.59
- 360 度の自由方向操作。



- 複数台設置する場合は、隣り合うプロジェクターの間隔を 1 m 以上あけてください。
- 天井/壁取り付けの場合は、プロジェクターの天井取り付けと下部の吸気口の間に 15 mm (0.6 インチ) を空けてください。
- ほこりが多い環境でご使用の場合など、環境や使用条件によっては、ほこりが吸気口付近にたまる場合があります。
- それにより、本機内部の送風・冷却・排熱の循環が悪化し、明るさ低下や破損につながる恐れがあります。

### お手入れについて

- 吸気口/排気口のほこりを半年から1年を目安に清掃してください。
- 内部清掃に関してはテクニカルサポートセンターにご相談ください。

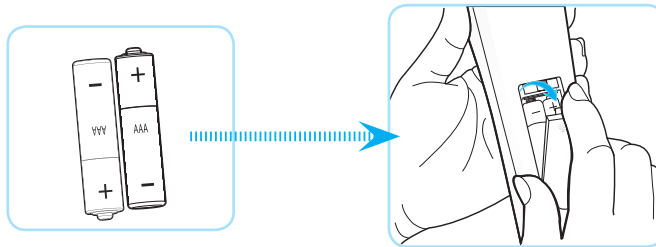
# 設定と設置

## リモコンの準備

### リモコンの電池の取り付け/交換

リモコンには単 4 電池 2 本が付属しています。

1. リモコンの背面にある電池カバーを外します。
2. 図のように単 4 電池をバッテリーコンパートメントに挿入します。
3. リモコンのカバーを戻します。



**注記:** 交換には同じ電池か同種の電池のみをご利用ください。

### 注意事項

電池の使い方が正しくないと、化学物質の漏れや爆発が起こる恐れがあります。必ず以下の指示に従ってください。

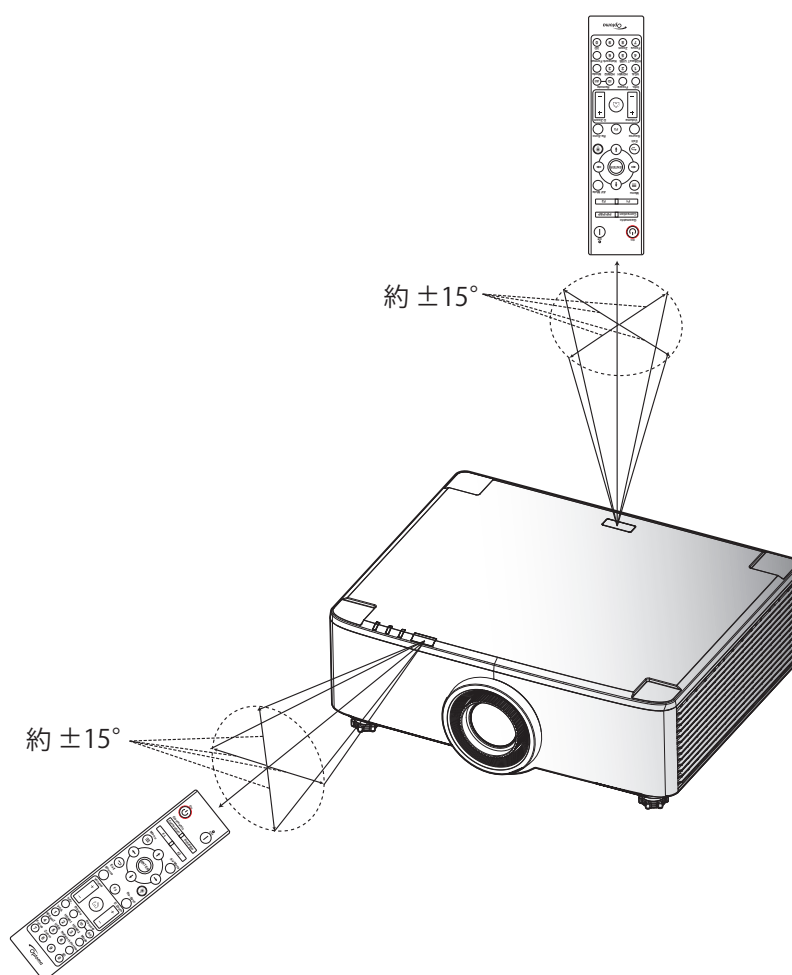
- 異なる種類の電池を混在させない。電池の種類によって特性が異なります。
- 古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。
- 使い切った電池はすぐに外してください。電池から漏れた化学物質が肌に触れると発疹が出ることがあります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。
- 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池を廃棄する際は、必ず関連する地域や国の法律に従ってください。

# 設定と設置

## リモコン有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサーは、プロジェクターの上面と前面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して 30 度以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は、 $\pm 15^\circ$  の角度で保持する場合は 6 メートル (19.7 フィート) 以内、センサーを  $0^\circ$  で向ける場合は 8 メートル (26.2 フィート) 以内にしてください。

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 5 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。

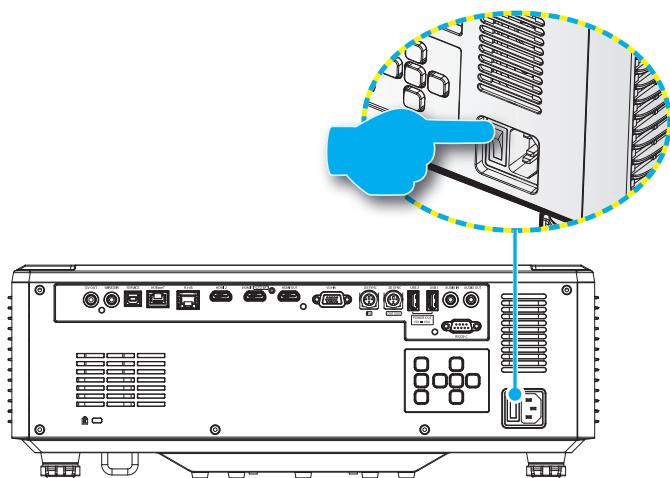


# プロジェクターを使用する

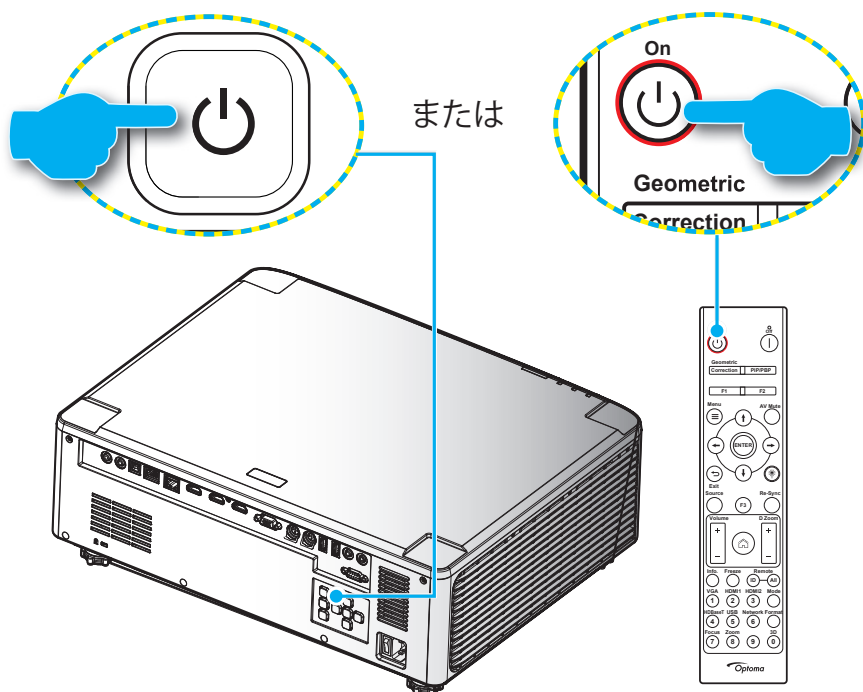
## プロジェクターの電源オン/オフ

### 電源オン

1. 電源コードと信号/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続すると、電源 LED が赤色に点灯します。
2. 電源スイッチを「I」(オン) 位置に設定し、プロジェクターのキーパッドの「I」が赤色に点灯するまで待機してください。

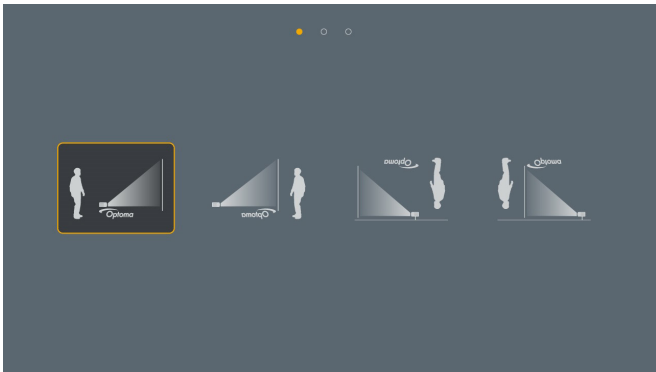


3. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「I」ボタンを押し、プロジェクターの電源を入れます。起動中、電源 LED は赤色に点滅し、通常動作中、電源 LED は緑色に点灯します。



# プロジェクターを使用する

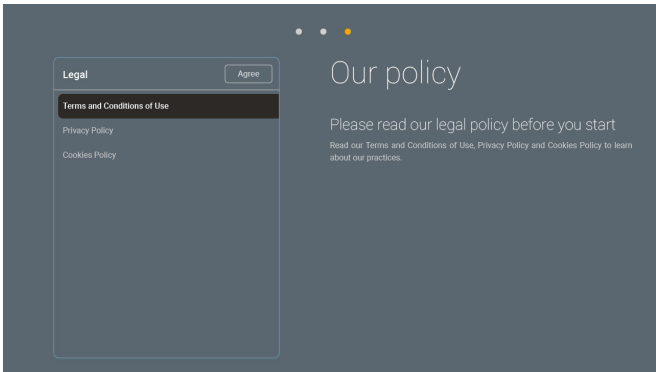
初めてプロジェクターの電源を入れると、投影方向、使用言語の選択など含む初期設定を行うように求められます。**セットアップ完了!** 画面が表示されたら、プロジェクターが使用できる状態であることを示します。



[投影画面]



[言語画面]



[規制画面]



# プロジェクターを使用する

## 電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドの「⓪」ボタンまたはリモコンの「|」ボタンを押して、プロジェクターの電源を切ります。次のメッセージが表示されます。

### 電源オン

もう一度電源オフを押してください。

2. ⓪または | ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に ⓪または | ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
3. 冷却サイクルの間、電源 LED は緑色に点滅します。電源 LED が赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、プロジェクターまたはリモコンの「⓪」ボタンを押すだけで、プロジェクターの電源が再び入ります。
4. 電源コードをコンセントおよびプロジェクターから抜きます。

### 注記:

- 電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。
- デフォルトでは、プロジェクターは、20 分間使用されない場合、自動的に電源が切れます。アイドル時間の長さを「自動電源オフ (分)」メニュー (「システム 設定 → 電源」) で変更できます。代わりに、プロジェクターをスタンバイモードに移行させたい場合は、自動電源オフ機能を無効にして、スリープ時間間隔 (「システム 設定 → 電源 → スリープタイマー (分)」) で設定してください。

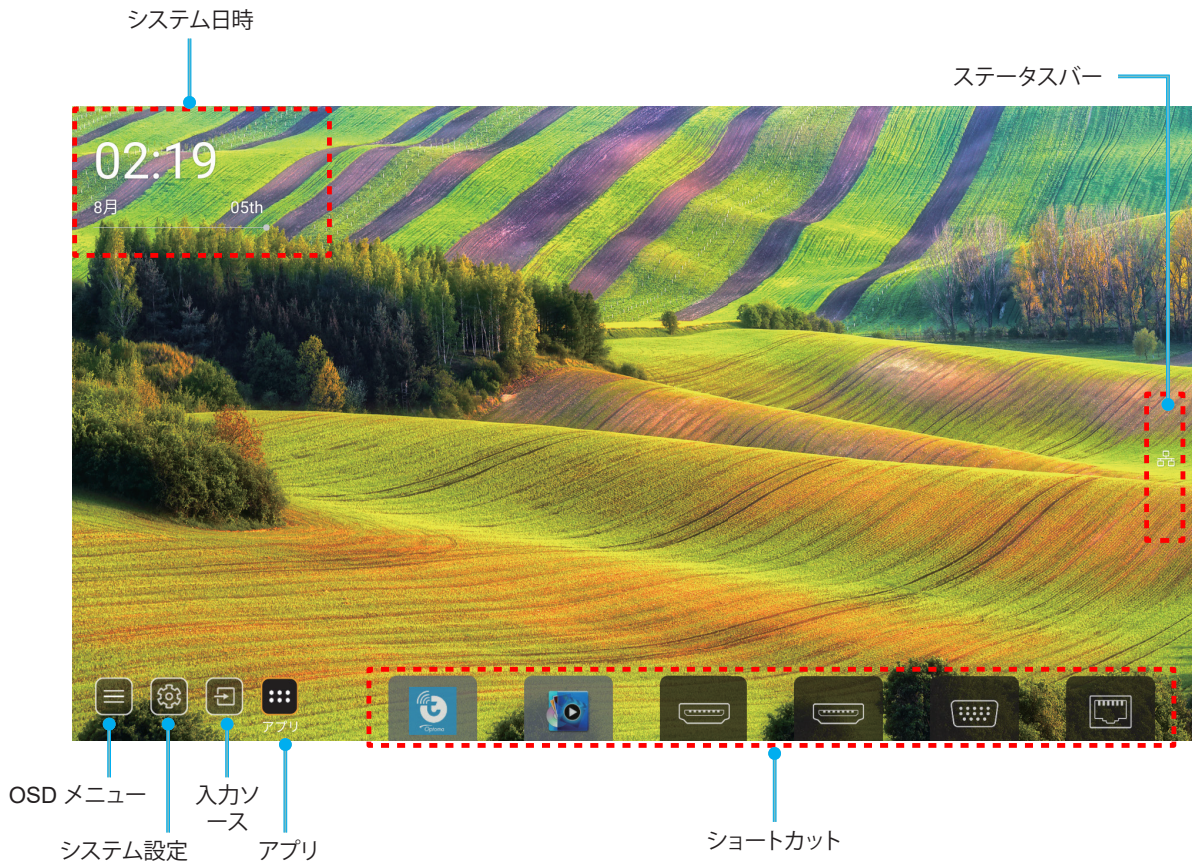
# プロジェクターを使用する

## ホーム画面の概要


プロジェクターを起動するたびにホーム画面が表示されます。システム日時、システムステータス、OSD メニューにアクセスするためのアイコン、プロジェクター設定メニュー、アプリ、入力ソースなどが含まれます。

ホーム画面をナビゲートするには、リモコンのボタンを使用してください。

ユーザーインターフェイス内の位置に関係なく、リモコンの「」を押して、いつでもホーム画面に戻ることができます。



**注記:** 例えば、上図の「アプリ」のように、選択されたメニューまたは項目がオレンジ色にハイライト表示されます。

**注記:** ショートカット設定を「システム 設定メニュー  → パーソナライズ → ホームショートカット」でパーソナライズできます。また、ホーム画面上のショートカットの順序を変更できます。

## システム日時

プロジェクターがネットワークに接続されると、ホーム画面に日時が表示されます。デフォルト設定は、10:00am、2019/01/01 です。24 時フォーマットがオフの場合のみ、AM/PM が表示されます。

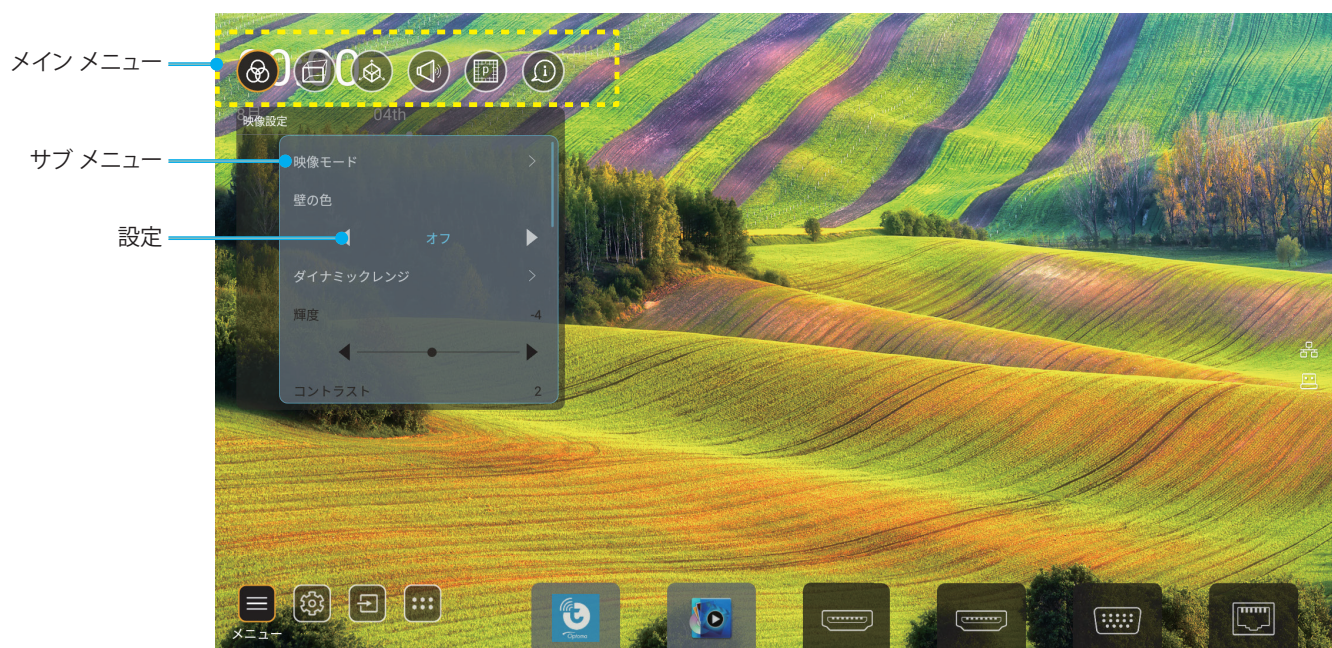
日時パラメーターを変更するには、画面の対応するフィールドを選択してください。日時設定ページが自動的に開きます。次に、変更してください。

# プロジェクターを使用する

## プロジェクター設定メニュー (OSD)

リモコンまたはホーム画面の「≡」を押して、OSD メニュー「⊙」を選択して、プロジェクター情報を確認するか、画像、ディスプレイ、3D、オーディオ、設定に関連するさまざまな設定を管理してください。

### 一般的なメニューのナビゲーション



1. OSD が表示されたら、上および下のナビゲーションキーを使って、メインメニューの任意の項目を選択してください。特定のページを選択している間に、「OK」を押して、サブメニューに入ってください。
2. 「左」および「右」ボタンを押して、目的のメニュー項目を選択してください。次に、「OK」を押して、サブメニューを開いてください。
3. 「上」および「下」ボタンを押して、サブメニューで、目的の項目を選択してください。
4. 「OK」ボタンを押して、設定を有効または無効にし、「左」および「右」ボタンを押して、値を調整してください。
5. サブメニューから次に調整する目を選択し、上記手順と同様に変更してください。
6. 終了するには、「左」を押してください (必要に応じて、繰り返してください)。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



# プロジェクターを使用する

## OSD メニューツリー

**注記:** システムと同じ言語で、OSD メニューが表示されます。必要に応じて、システム設定メニューで、言語を変更してください。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
映像設定	映像モード			プレゼンテーション
				明るさ
				HDR
				シネマ
				sRGB
				DICOM SIM.
				ブレンディング
				ユーザー
				3D
	壁紙色			オフ
				黒板
				ライトイエロー
				ライトグリーン
				ライトブルー
				ピンク
				Gray
	ダイナミックレンジ	HDR		自動 [デフォルト]
				Off
		HDR ピクチャ モード		ブライト
				標準 [デフォルト]
				フィルム
	輝度			詳細
	コントラスト			-50 ~ +50
	鮮明度			-50 ~ +50
	色の濃さ			1 ~ 15
	色合い			-50 ~ +50
	ガンマ			-50 ~ +50
				フィルム
				ビデオ
				グラフィック
				標準 (2.2)
				1.8
				2.0
				2.4
	色設定			2.6
		BrilliantColor™		1 ~ 10
		色温度		標準
				クールホワイト
				冷色











# プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
映像設定	色設定	Color Matching	色の濃さ	R [デフォルト]
				G
				B
				C
				Y
				M
				W
			色あい	0 ～ 199
		RGB ゲイン/バイアス	彩度	0 ～ 199
			ゲイン	0 ～ 199
			リセット	キャンセル [デフォルト]
				Yes
			赤ゲイン	0 ～ 100
			緑ゲイン	0 ～ 100
			青ゲイン	0 ～ 100
			赤バイアス	0 ～ 100
			緑バイアス	0 ～ 100
			青バイアス	0 ～ 100
			リセット	キャンセル [デフォルト]
				Yes
	ダイナミックブラック			Off [デフォルト]
				On
	エクストリームブラック			Off [デフォルト]
				On
ディスプレイ	縦横比	定電力モード		100% [デフォルト]、 80%、65%、50%
		定輝度モード		Off [デフォルト]
				85%、80%、75%、70%
	エッジマスク			キャンセル [デフォルト]
				Yes
	デジタルズーム			自動
				4:3
				16:9
				16:10
	画像シフト	ズーム		0 ～ 10 [デフォルト:0]
		リセット		-5 ～ +25 [デフォルト:0]
				いいえ [デフォルト]
				Yes
				(調整用の画像シフト)

# プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
ディスプレイ	幾何学補正	Four Corner Control		Off
				On [デフォルト]
		4 コーナー調整		(調整用のパターン)
		水平キーストーン		-40 ~ +40 [デフォルト: 0]
		垂直キーストーン		-40 ~ +40 [デフォルト: 0]
		ワープブレンドコントロール		Off [デフォルト]
				OSD
		ワープブレンドメモリ	適用	1 ~ 5 [デフォルト: 1]
			現在の保存	1 ~ 5 [デフォルト: 1]
		ワープブレンドカーソルの色		Green
				Magenta [デフォルト]
				Red
				Cyan
		ワープブレンドグリッドの色		Green [デフォルト]
				Magenta
				Red
				Cyan
		ワープブレンド背景の色		なし
				黒色 [デフォルト]
		ワープ設定	ワープ校正	(調整用のパターン)
			グリッド ポイント	2x2 [デフォルト]
				3x3
				5x5
				9x9
				17x17
			ワープ内部	Off [デフォルト]
				On
			ワープシャープネス	0 ~ 9 [デフォルト: 9]
		ブレンド設定	ブレンド幅	(調整用のパターン)
			オーバーラップグリッド番号	4 [デフォルト]
				6
				8
				10
				12
			混合ガンマ	1.8
				2.0
				2.2 [デフォルト]
				2.4
				2.6
		リセット		キャンセル [デフォルト]
				Yes

# プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
ディスプレイ	信号	自動		Off [デフォルト]
				On
		周波数		-50 ～ +50 (信号に依存)
		位相		0 ～ 31 (信号に依存)
		水平位置		-30 ～ +10 (信号に依存)
		垂直位置		-10 ～ +10 (信号に依存)
	PIP/PBP	画面		なし
				PIP 
				PBP 
		PIPの場所		
				
				
				
		PBPの場所		
				
				
				
		大きさ		大
				Medium
				小
		メイン入力		HDMI 1
				HDMI 2
				VGA
				HDBaseT
				USB
				ホーム
		サブ入力		HDMI 1
				HDMI 2
				VGA
				HDBaseT
				USB
				ホーム

# プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
ディスプレイ	PIP/PBP	スワップ		Off [デフォルト]
				On
	HDMI設定	EDID	HDMI 1 EDID	2.0 1.4
	メニュー設定	メニュー位置		 [デフォルト]
				
				
				
				
		メニュータイマー		Off
				5 秒
				10 秒 [デフォルト]
3D	3D モード			Off [デフォルト]
				On
	3D 技術			DLP-Link [デフォルト]
				3D 同期
	3D 映像フォーマット			自動 [デフォルト] 
				SBS 
				トップアンドボトム 
				フレームシーケンシャル 
				フレームパッキング 
	3D 同期反転			Off [デフォルト]
				On
	3D 同期アウト			エミッターへ [デフォルト]
				次のプロジェクターへ
	L/R 参照			フィールド GPIO
				1番目のフレーム [デフォルト]
	3D フレーム遅延			0 ~ 200
	リセット			キャンセル [デフォルト]
				Yes
オーディオ	消音			Off [デフォルト]
				On
	ボリューム			0 ~ 100 [デフォルト : 50]



# プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
セットアップ	プロジェクションモード			 [デフォルト]
				
				
				
	スクリーンタイプ			4:3
				16:9
				16:10 [デフォルト]
	フィルター設定	エアフィルター使用時間		読み取り専用 [範囲 0~99999]
		エアフィルター取付		いいえ [デフォルト]
				Yes
		エアフィルタ寿命		Off
				300 時間
				500 時間 [デフォルト]
				800 時間
				1000 時間
		エアフィルター使用時間 リセット		キャンセル [デフォルト]
				Yes
	レンズ設定	レンズ調整		ロック解除 [デフォルト]
				ロック
		レンズシフト		(調整用のパターン)
		レンズキャリブレーション		(調整用のレンズキャリブレーション)
		レンズメモリ	位置の適用	1 ~ 5
			現在位置の保存	1 ~ 5
			リセット	キャンセル [デフォルト]
	テストパターン			緑のグリッド
				マゼンタのグリッド
				白グリッド
				白色
				Off
	高地モード			Off [デフォルト]
				On
	ディスプレイモードロック			Off [デフォルト]
				On
	キーパッドロック			Off [デフォルト]
				On

# プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
情報	ディスプレイ	ディスプレイモード		
		輝度モード	定電力モード	
	ハードウェア	電源モード (スタンバイ)		
		高地モード		
		エアフィルター使用時間		読み取り専用 [範囲 0~99999 時間]
		投影時間		読み取り専用 [範囲 0~99999 時間]
		システム温度		読み取り専用
	入力ソース	メイン入力	ソース	
			解像度	
			リフレッシュ レート	
			色深度	
		サブ入力	ソース	
			解像度	
			リフレッシュレート	
			色深度	
	ネットワーク	LAN制御	LAN ステータス	
			IP アドレス	
			サブネットマスク	
			ゲートウェイ	
			DNS	
			MAC アドレス	
	バージョン情報	制御		
		シリアル番号		
		FW バージョン	システム	
			LAN	
			MCU	
			DDP	
	コントロール	プロジェクター ID		0 ~ 99
		リモートコード		0 ~ 99

# プロジェクターを使用する

## 映像設定メニュー

### ディスプレイモード

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- **プレゼンテーション:** このモードは、PC に接続した状態でオーディエンスに公開する場合に適しています。
- **明るさ:** PC 入力に対する最大輝度。
- **HDR:** ハイダイナミックレンジ (HDR) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。このモードは、HDR が ON に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR コンテンツがプロジェクターに送信されます – 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HDR ゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)。HDR モードが有効なとき、他の表示モード (映画や参照など) は選択できません。HDR は、他の表示モードの色パフォーマンスを超える、非常に精密な色を再現するからです。
- **シネマ:** 映画を見るために最適な色を提供します。
- **sRGB:** 標準化された正確なカラー。
- **DICOM SIM.:** このモードでは、X 線撮影、MRI などの医療用画像を白黒で投影することができます。
- **ブレンディング:** 複数台のプロジェクターを使用する場合、このモードは目に見えるバンディングを除去し、スクリーン全体に 1 つの明るく高解像度の画像を作成できます。
- **ユーザー:** ユーザー設定を保存します。
- **3D:** 3D 効果を体験するには、3D 眼鏡を用意する必要があります。Blu-ray 3D DVD プレーヤーがインストールされていることを確認します。

- 注記:**
- 3D モードはデフォルトでオフになっています。
  - ディスプレイモードロック機能をオンにすると、プレゼンテーション、明るさ、シネマ、sRGB、DICOM SIM.、ブレンディング、ユーザー モードは使用できなくなります。
  - 3D または HDR 機能をオンにすると、プレゼンテーション、明るさ、シネマ、sRGB、DICOM SIM.、ブレンディング、ユーザー モードは使用できなくなります。

### 壁紙色

この機能を利用し、壁の色に合わせてスクリーン画像を最適化します。Off、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、Gray から選択します。

- 注記:** ディスプレイロックモードまたは 3D 機能をオンにすると、壁紙色は使用できなくなります。

### ダイナミックレンジ

4K HDR Blu-ray プレーヤー、1080p HDR および 4K HDR ゲームコンソール、4K HDR ストリーミングセットボックス、4K HDR ストリーミングサービスから、ビデオを表示するとき、ハイダイナミックレンジ (HDR) 設定とその効果を構成してください。

- 注記:** HDMI 2 および VGA ソースは、ダイナミックレンジをサポートしません。

#### ➤ HDR (ハイダイナミックレンジ)

- **自動:** HDR 信号を自動検出します。
- **Off:** HDR 処理をオフに切り替えます。Off に設定すると、プロジェクターは HDR コンテンツを復号しません。

#### ➤ HDR ピクチャ モード

- **ブライト:** このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
- **標準:** このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。
- **フィルム:** このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。
- **詳細:** このモードを選択すると、暗いシーンで細部が改善され、画像が鮮明になります。

# プロジェクターを使用する

## 輝度

画像の輝度を調整します。

### 注記:

- ディスプレイモードロック機能または 3D 機能をオンにすると、輝度は使用できなくなります。
- 入力ソースをホームに切り替えると、輝度は使用できなくなります。

## コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

### 注記:

- ディスプレイモードロック機能をオンにすると、コントラストは使用できなくなります。
- 入力ソースをホームに切り替えると、コントラストは使用できなくなります。

## シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

## カラー

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

**注記:** 入力ソース VGA、HDMI 1、HDMI 2、HDBaseT のカラーフォーマットが RGB の場合、カラーは使用できません。

## 色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

**注記:** 入力ソース VGA、HDMI 1、HDMI 2、HDBaseT のカラーフォーマットが RGB の場合、色あいは使用できません。

## ガンマ

ガンマカーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、ガンマ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム:** ホームシアター用。
- **ビデオ:** ビデオまたは TV ソース用。
- **グラフィック:** PC/写真ソース用。
- **標準 (2.2):** 標準化された設定用。
- **1.8/2.0/2.4/2.6:** 特定の PC/写真ソース用。

### 注記:

- これらのオプションは、3D モード機能が無効で、**壁紙色** 設定が **黒板** に設定されておらず、**ディスプレイモード** 設定が **DICOM SIM.** または **HDR** に設定されていない場合にのみ使用できます。
- **ディスプレイモード** が **HDR**、**3D**、**黒板**、**DICOM SIM.** であるとき、ガンマは使用できません。
- **ディスプレイモード** ロック、**DICOM SIM.** モード、**壁紙色**、**3D**、**HDR** 機能をオフにすると、ガンマは使用できなくなります。

## 色設定

色設定を行います。

- **BrilliantColor™:** 新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の鮮やかなカラーを実現します。  
**注記:** ディスプレイロックモード、ブレンディング、または 3D 機能をオンにすると、BrilliantColor は使用できなくなります。

# プロジェクターを使用する

- **色温度:** 色温度を 標準、クールホワイト、または 冷色 から選択します。  
**注記:** ディスプレイロックモード、sRGB、ブレンディング、ユーザー、または 3D 機能をオンにすると、色温度は使用できなくなります。
- **カラーマッチング:** R (赤)、G (緑)、B (青)、C (シアン)、Y (黄)、M (マゼンダ)、または、W (白) 色の色あい、彩度およびゲインを調整します。  
**注記:**
  - 「リセット」を選択して、カラーマッチング設定をリセットする、および/または、「戻る」を選択して、カラーマッチングメニューを終了します。
  - ディスプレイモードロック機能をオンにすると、カラーマッチングは使用できなくなります。
- **RGB ゲイン/バイアス:** この設定で画像の輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を構成できます。  
**注記:**
  - 「リセット」を選択して、RGB ゲイン/バイアス設定をリセットする、および/または、「戻る」を選択して、RGB ゲイン/バイアスメニューを終了します。
  - ディスプレイモードロック機能をオンにすると、RGBゲイン/バイアスは使用できなくなります。

## ダイナミックブラック

ビデオコンテンツのコントラスト比を自動調整します。

**注記:** ディスプレイモードロック機能をオンにすると、ダイナミックブラックは使用できなくなります。

## エクストリームブラック

空白 (黒) の画像が表示されたときにコントラストを自動増加します。

**注記:** ディスプレイモードロック機能をオンにすると、エクストリームブラックは使用できなくなります。

## 輝度モード

ブライトネスモード設定を選択します。

- **定電力モード:** 輝度モードに定電力パーセントを選択します。
  - **定輝度モード:** 輝度モードに定輝度パーセントを選択します。
- 注記:** ディスプレイモードロック機能またはダイナミックブラック機能をオンにすると、輝度モードは使用できなくなります。

## リセット

映像設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

**注記:** ディスプレイモードロック機能をオンにすると、リセットは使用できなくなります。

# プロジェクターを使用する

## ディスプレイメニュー

### アスペクト比

次のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します：

- **自動**：適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。
- **4:3**：このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- **16:9**：ワイドスクリーンテレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 16:9 入力用です。
- **16:10**：このフォーマットは、ワイドスクリーンノート PC などの 16:10 入力ソース用です。

**注記**：入力ソースをホームに切り替えると、アスペクト比は使用できなくなります。

### 4K UHD スケーリングテーブル：

16:9 画面	480i/p	576i/p	720p	1080i/p	2160p
自動	- ソースが 4:3 である場合、画面タイプは自動的に 2880 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 である場合、画面タイプは自動的に 3840 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 15:9 である場合、画面タイプは自動的に 3600 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 である場合、画面タイプは自動的に 3456 x 2160 にサイズ変更されます。				
4x3	2880 x 2160 に調整します。				
16x9	3840 x 2160 に調整します。				
16x10	3456 x 2160 に調整します。				

### 自動マッピングルール：

	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	3840	2160
4:3	640	480	2880	2160
	800	600	2880	2160
	1024	768	2880	2160
	1280	1024	2880	2160
	1400	1050	2880	2160
	1600	1200	2880	2160
ワイドノート PC	1280	720	3840	2160
	1280	768	3600	2160
	1280	800	3456	2160
SDTV	720	576	2700	2160
	720	480	3240	2160
HDTV	1280	720	3840	2160
	1920	1080	3840	2160

### エッジマスク

この機能を使って、ビデオソースのエッジのビデオエンコードノイズを除去します。

**注記**：入力ソースを USB またはホームに切り替えると、エッジマスクは使用できなくなります。

### デジタルズーム

投影スクリーンの画像サイズを調整します。

# プロジェクターを使用する

**注記:** 入力ソースを USB またはホームに切り替えると、デジタルズームは使用できなくなります。

## 画像シフト

投影される画像位置を水平 (H) または垂直 (V) に調整します。

**注記:** 入力ソースを USB またはホームに切り替えると、画像シフトは使用できなくなります。

## 幾何学補正

画像の投影を調整し、特定の投影表面または形状に一致させます。

- **Four Corner Control:** 4 コーナーコントロールを調整できます。
- **4 コーナー調整:** 4 つのコーナーのそれぞれの x 位置と y 位置を移動することによって、定義された領域に収まるように画像を絞り込みます。  
**注記:** Four Corner Control 機能をオフにすると、4 コーナー調整 は使用できなくなります。
- **水平キーストーン:** 画像の歪みを水平方向に調整し、正方形の画像を作成します。水平キーストーンは、画像の左右の境界の長さが等しくないキーストーン画像の形状を修正するために使用されます。これは、水平軸上アプリケーションでの使用を目的としています。
- **垂直キーストーン:** 画像の歪みを垂直方向に調整し、正方形の画像を作成します。垂直キーストーンは、上下が片側に傾いているキーストーン画像の形状を修正するために使用されます。これは、垂直軸上アプリケーションでの使用を目的としています。
- **ワープ/ブレンドコントロール:** 「OSD」に設定して、ワープ設定を使用して、投影画像をカスタマイズするか、「オフ」に設定して、ネイティブ投影画像を投影してください。
- **ワープ/ブレンドメモリ:** ワープ/ブレンド設定後にワープ/ブレンドデータを保存します。選択したワープ/ブレンドメモリのセットにワープ/ブレンドデータを適用します。ワープ/ブレンドメモリは、最大 5 つの設定データを保存できます。
- **ワープ/ブレンドカーソルの色:** ワープ/ブレンドカーソルの色を選択できます。オプションは次のとおりです: Green、Magenta (デフォルト)、Red、Cyan。
- **ワープ/ブレンドグリッドの色:** ワープ/ブレンドグリッドの色を選択できます。オプションは次のとおりです: Green (デフォルト)、Magenta、Red、Cyan。
- **ワープ/ブレンド背景の色:** ワープ/ブレンドの背景色選択できます。オプションには、なし、黒色 (デフォルト) が含まれます。
- **ワープ設定:** ワープ設定を構成します。
  - **ワープ校正:** ◀、↓、↑、または ▶ を押して、ポイントに焦点を合わせます。「Enter」を押して、ポイントを選択してください。次に、◀、↓、↑、または ▶ を押して、選択したポイントに位置をシフトさせてください。↶ を押して、前ページに戻ります。
  - **グリッド ポイント:** ワープパターンのグリッドポイントを設定します。オプションは次のとおりです: 2x2 (デフォルト)、3x3、5x5、9x9、17x17。
  - **ワープ内部:** ワープ内部コントロールのオン/オフを切り替えます。  
**注記:** ワープ内部は、2x2 グリッドポイントをサポートしていません。
  - **ワープシャープネス:** グリッド線が直線から曲線に反っている場合、グリッド線は歪んでギザギザになります。ギザギザの線がはっきりしすぎないようにするために、ワープのシャープネスを調整して、画像のエッジをぼかしたりシャープにしたりできます。
- **ブレンド設定:** ブレンド設定を構成します。
  - **ブレンド幅:** ブレンドパターンの幅を設定します。オーバーラップサイズの有効範囲は以下の通りです:
    - (1) 左: 0 (0%)/192 (10%) ~ 960 (50%)
    - (2) 右: 0 (0%)/192 (10%) ~ 960 (50%)
    - (3) 上: 0 (0%)/120 (10%) ~ 600 (50%)
    - (4) 下: 0 (0%)/120 (10%) ~ 600 (50%)
  - **オーバーラップグリッド番号:** ブレンドオーバーラップグリッド番号を設定します。オプションは次のとおりです: 4 (デフォルト)、6、8、10、12。



# プロジェクターを使用する

- **混合ガンマ**: 混合ガンマを設定します。オプションは次のとおりです: 1.8、2.0、2.2 (デフォルト)、2.4、2.6。
- **リセット**: 幾何学補正設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

## 信号

信号オプションを調整します。

- **自動**: 信号を自動的に設定します (周波数と位相項目はグレー表示になります)。自動が無効になっている場合、設定を手動で調整し保存できるように周波数と位相項目が表示されます。
- **周波数**: ディスプレイデータ周波数を変更して、コンピューターのグラフィックカード周波数に適合させます。画像が垂直方向でちらついて見える場合のみ、この機能をお使いください。
- **位相**: ディスプレイの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。
- **水平位置**: 画像の水平位置を調整します。
- **垂直位置**: 画像の垂直位置を調整します。

**注記:** このメニューは、入力ソースが、RGB/コンポーネントである場合のみ利用可能です。

## PIP/PBP

PIP モードまたは PBP モードで 2 つのソースを使って画像を表示します。

**注記:** PIP/PBP 機能は、3D をサポートしていません。

- **画面**: 2 つのソース (メインおよび PIP/PBP 画像) を同時に表示するか、1 つのソースのみを表示するかを切り替えます。
  - **なし**: メインソースからの画像のみを表示します。
  - **PIP**: 画面を半分に分割して、2 つのソースからの画像を表示します。1 つのソースは画面の左側に表示され、もう 1 つのソースは画面の右側に表示されます。
  - **PBP**: 画面を 2 つの部分に分割して、2 つのソースからの画像を表示します。1 つのソースはメイン画面に表示され、別のソースはインセットウィンドウに表示されます。
- **PIPの場所**: PIP の場所を左上、右上、右下、右下から設定します。
- **PBPの場所**: PBP の場所をメイン左、メイン上、メイン右、メイン下から設定します。
- **大きさ**: PIP サブソースサイズを 大、Medium、小 から設定します。
- **メイン入力**: メイン画像として使用するアクティブな入力を選択します。利用可能な入力には、HDMI 1、HDMI 2、VGA、HDBaseT、USB、ホーム が含まれます。
- **サブ入力**: サブ画像として使用するアクティブな入力を選択します。利用可能な入力には、HDMI 1、HDMI 2、VGA、HDBaseT、USB、ホーム が含まれます。
- **スワップ**: PIP/PBP の場所、PIP/PBP の場所をメイン画像に変更します。スワッピングは、PIP/PBP が有効になっている場合にのみ使用できます。

**注記:**

A) PIP/PBP の互換性を以下の表に説明します:

























PIP/PBP			メイン					
			VGA	HDMI 2	HDMI 1		HDBaseT	USB
				v1.4	v1.4	v2.0		
サブ	VGA		-	-	-	-	-	-
	HDMI 2	v1.4	v	-	v	v	v	v
	HDMI 1	v1.4	v	v	-	-	v	v
		v2.0	-	-	-	-	-	-
	HDBaseT		v	v	v	v	-	v
	USB		-	-	-	-	-	-

1. 両方の入力の帯域幅が高すぎる場合、ラインが点滅する可能性があります。解像度を下げてみてください。



# プロジェクターを使用する

2. メイン画像とサブ画像のフレームレートの違いにより、フレームティアリングが発生する可能性があります。各入力のフレームレートを一致させるようにしてください。
- B) PIP/PBP のレイアウトとサイズを以下の表に説明します:
- P: プライマリソース領域 (明るい色) を示します

PIP/PBP のレイアウト	PIP/PBP のサイズ		
	小	Medium	大
PIP、左上			
PIP、右上			
PIP、左下			
PIP、右下			
PBP、メイン左			
PBP、メイン上			
PBP、メイン右			
PBP、メイン下			

## HDMI 設定

HDMI EDIDタイプを2.0または1.4から選択します。

- 1080pソース(Xbox 360、Cable Box、Satellite Boxなど)を使用するときは、HDMI 1.4 EDIDを選択してください。
- 1080p HDRソース(Xbox One SまたはPS4など)および4K HDRソース(4K HDR Blu-rayプレーヤー、Roku Ultra4K、SHIELD TV、Xbox One XおよびPS4 Proなど)の場合は、HDMI 2.0 EDIDを選択してください。

**注記:** HDMI 1.4ソースで、HDMI 2.0 EDIDを使用すると、色が異常になったり、カラーバンド付けが発生する可能性があります。これが発生した場合は、ソースが接続されるポートをEDIDから2.0に変更してください。

## メニュー設定

画面上のメニュー位置を設定し、メニュータイマーを設定します。

- メニュー位置:** スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。
- メニュータイマー:** OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。

**注記:** PIP または PBP 機能をオンにすると、メニュー位置は使用できなくなります。

## 3D メニュー

- 注記:**
- このプロジェクターは、3D 対応のプロジェクターです。
  - 3D 眼鏡、DLP-Link 3D または VESA 3D に使用されていることを確認してください。
  - このプロジェクターは、HDMI 1 および HDMI 2 ポートを介して、フレームシーケンシャル 3D をサポートします。
  - 最大解像度は 1080P です (4K 3D 解像度はサポートされません)。

## 3D モード

このオプションを利用し、3D 機能を有効または無効にします。

- Off:** 「Off」を選択すると、3D モードがオフになります。
- On:** 「On」を選択すると、3D モードがオンになります。

# プロジェクターを使用する

## 注記:

- PIP または PBP 機能をオンにすると、3D モードは使用できなくなります。
- 入力ソースをホームに切り替えると、3D モードは使用できなくなります。

## 3D 技術

3D 技術パラメーターを「DLP-Link」または「3D 同期」に設定してください。

## 3D 映像フォーマット

このオプションを使って、適切な 3D フォーマットのコンテンツを選択します。

- **自動:** 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- **SBS:** 「サイドバイサイド」フォーマットで 3D 信号を表示します。
- **トップアンドボトム:** 3D 信号を「トップアンドボトム」フォーマットで表示します。
- **フレームシーケンシャル:** 3D 信号を「フレームシーケンシャル」フォーマットで表示します。フレームシーケンシャルエンコーディング方法は、PC コンテンツで一般的に使用されます。
- **フレームパッキング:** 3D 信号を「フレームパッキング」フォーマットで表示します。Frame Packing エンコーディング方法は、主に 1080p Blu-ray で使用されます。

## 注記:

- PIP または PBP 機能をオンにすると、3D フォーマットは使用できなくなります。
- 3D モード機能をオフにすると、3D フォーマットは使用できなくなります。
- 入力ソースをホームに切り替えると、3D フォーマットは使用できなくなります。

## 3D 同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

## 3D 同期アウト

3D 同期出力コレクターによって 3D 同期信号をエミッターまたは次のプロジェクターに送信して、3D ブレンディングを行います。

## L/R 参照

左または右参照のソース。

- **フィールド GPIO:** フィールド GPIO を選択して、最初の 3D 出力信号をマルチプロジェクターアプリケーションで同じにします。
- **第 1 フレーム:** これは、シングル 3D プロジェクターに使用されます。

## 3D フレーム遅延

3D ブレンディングでの画像の非同期表示を修正します。

## リセット

3D 設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

## 注記:

- PIP または PBP 機能をオンにすると、リセットは使用できなくなります。
- 3D モード機能をオフにすると、リセットは使用できなくなります。
- 入力ソースをホームに切り替えると、リセットは使用できなくなります。

## オーディオメニュー

### 消音

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **On:** 「On」を選択して、ミュートをオンに切り替えます。
- **Off:** 「Off」を選択して、ミュートをオフに切り替えます。

# プロジェクターを使用する

## ボリューム

オーディオ音量レベルを調整します。

## セットアップメニュー

### プロジェクションモード

正面、裏面、正面 - 上部、裏面 - 上部からお好みの投影を選択します。

### スクリーンタイプ

画面タイプを自動、4:3、16:9、16:10 から選択します。

### フィルター設定

フィルター色設定を行います。

**注記:** 中国でのみフィルターカバーが装備されています。

- **エアフィルター使用時間:** エアフィルター使用時間を表示します。
- **エアフィルター取付:** 警告メッセージを設定します。
  - **Yes:** 使用時間が500 時間を超えると警告メッセージが表示されます。

**注記:** 「エアフィルター使用時間 / エアフィルタ寿命 / エアフィルター使用時間リセット」は、「エアフィルター取付」が「Yes」のときのみ表示されます。
  - **いいえ:** 警告メッセージをオフにします。
- **エアフィルタ寿命:** フィルター交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。利用可能なオプションは、Off、300 時間、500 時間、800 時間、1000 時間 です。
- **エアフィルター使用時間リセット:** ダストフィルターを交換または洗浄した後、ダストフィルターカウンタをリセットしてください。

### レンズ設定

レンズ機能に関する設定を行います。

- **レンズ調整:** すべてのレンズモーターが動かないようにします。
- **レンズシフト:** レンズを上下または左右に移動します。
- **レンズキャリブレーション:** レンズを中央に戻すように調整します。
- **レンズメモリ:** レンズシフトを行った後、現在のレンズ位置を保存します。選択したレンズメモリのセットにレンズ位置を適用します。レンズメモリは最大 5 つの場所を保存できます。

**注記:**

- レンズメモリを処理する前に、レンズキャリブレーションを完了する必要があります。
- レンズ機能をロックに切り替えると、レンズシフト、レンズキャリブレーション、レンズメモリ使用できなくなります。

### テストパターン

テストパターンを 緑のグリッド、マゼンタのグリッド、白グリッド、白色 から選択するか、この機能 (Off) を無効にします。

### 高地モード

「On」を選択すると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

# プロジェクターを使用する

## ディスプレイモードロック

「Off」または「On」を選択して、ディスプレイモード設定の調整をロックまたはロック解除します。

## キーパッドロック

キーパッドロック機能が「On」であるとき、キーパッドがロックされます。しかし、リモコンでプロジェクターを操作できます。「Off」を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

## 情報メニュー

以下に示すプロジェクター情報を表示します：

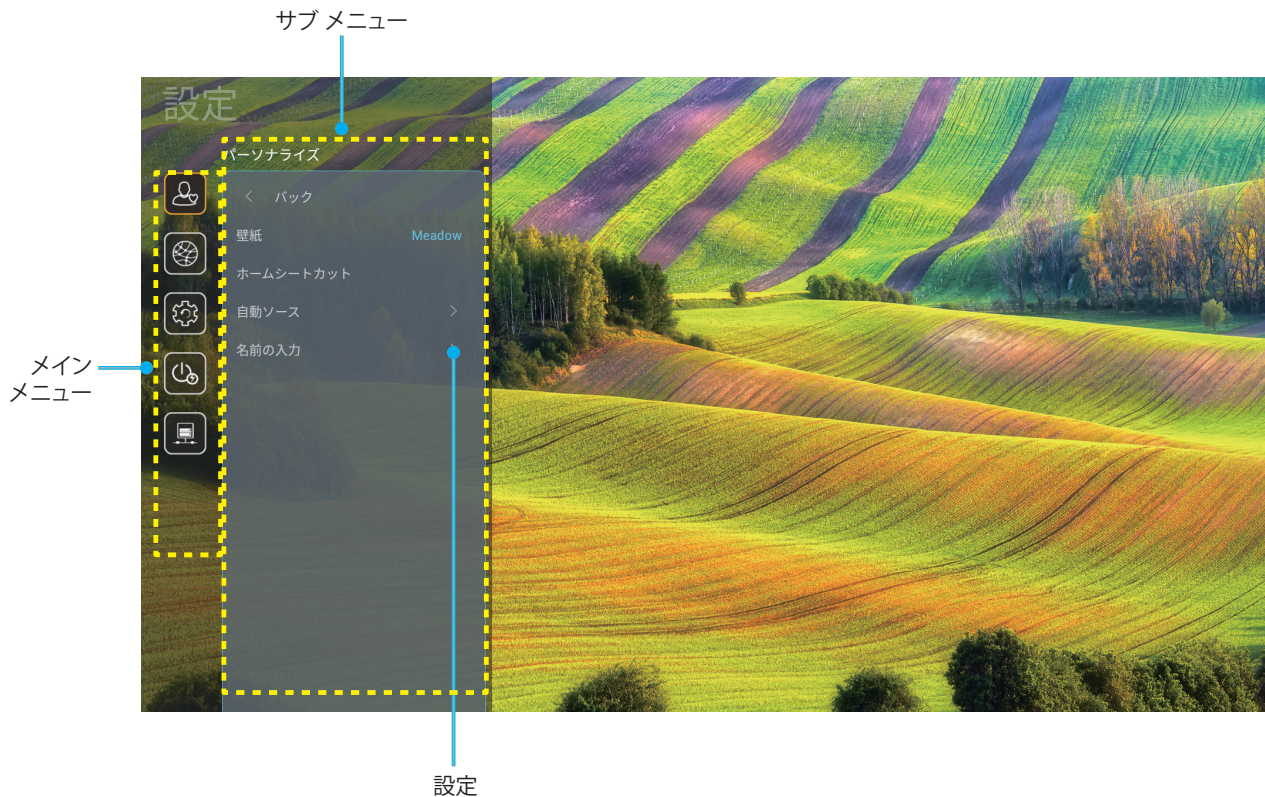
- ディスプレイ
- ハードウェア
- 入力ソース
- ネットワーク
- バージョン情報
- コントロール


# プロジェクターを使用する

## システム設定メニュー

ホーム画面で、システム設定メニュー「」を選択し、さまざまなシステム設定を構成してください。

### 一般的なメニューのナビゲーション



1. システム設定メニューが表示されたら、上および下のナビゲーションキーを使って、メインメニューの任意の項目を選択してください。特定ページで選択している間に、リモコンの「OK」または「右」ボタンを押して、サブメニューに入ってください。
2. 「左」および「右」ボタンを押して、目的のメニュー項目を選択してください。次に、「OK」を押して、サブメニューを開いてください。
3. 「上」および「下」ボタンを押して、サブメニューで、目的の項目を選択してください。
4. 「OK」または「右」ボタンを押して、選択したサブメニュー項目設定にアクセスしてください。
5. 「上」、「下」、「左」、「右」ボタンを押して、設定を選択するか、「左」および「右」ボタンを押して、値を調整してください (必要に応じて)。
6. 「OK」を押して、設定を確認してください。
7. サブメニューから次に調整する目を選択し、上記手順と同様に変更してください。
8. 終了するには、「」を押してください (必要に応じて、繰り返してください)。設定メニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。

# プロジェクターを使用する

## システム設定メニューツリー

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	値
パーソナライズ	壁紙			(壁紙の選択)
	ホームショートカット	ショートカット 1: TapCastPro		アプリ/入力ソース
		ショートカット 2: LocalMM		アプリ/入力ソース
		ショートカット 3		アプリ/入力ソース
		ショートカット 4		アプリ/入力ソース
		ショートカット 5		アプリ/入力ソース
		ショートカット 6		アプリ/入力ソース
	自動ソース	自動ソース		Off [デフォルト]
				On
	名前の入力	HDMI 1		[デフォルト]
		HDMI 2		[デフォルト]
		VGA		[デフォルト]
		HDBaseT		[デフォルト]
		USB		[デフォルト]
		ホーム		[デフォルト]
ネットワーク	イーサネット	ネットワーク情報		読み取り専用
		IP アドレス		読み取り専用
		MAC アドレス		読み取り専用
		プロキシ設定	なし	
			手動	プロキシホスト名
				Proxy Port
				プロキシドメインのバイパス
		IP 設定	DHCP	Off
				On
			静的	IP アドレス
				ゲートウェイ
				ネットワーク プレフィックスの長さ
				DNS 1
				DNS 2
		リセット		キャンセル [デフォルト]
				Yes
	LAN制御	ネットワーク情報		読み取り専用
		MAC アドレス		読み取り専用
		DHCP		Off
				On [デフォルト]
		IP アドレス	編集可能	192.168.10.100
		サブネットマスク	編集可能	255.255.0.0
		ゲートウェイ	編集可能	192.168.0.254
		DNS	編集可能	168.95.1.1
		リセット		キャンセル [デフォルト]
				Yes

# プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
システム	言語			English
				Deutsch
				Français
				Italiano
				Español
				Português
				Polski
				Nederlands
				Svenska
				Norsk
				Dansk
				Suomi
				ελληνικά
				繁體中文
				简体中文
				日本語
				한국어
				Русский
				Magyar
				Čeština
				عربي
				ไทย
				Türkçe
				فارسی
				Tiếng Việt
				Bahasa Indonesia
				Română
	キーボード	現在のキーボード		
		キーボードの管理		



# プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
システム	日付および時刻	日付		読み取り専用
		時刻		読み取り専用
		タイムゾーンの選択		
		夏時間		Off [デフォルト]
				On
		24 時間形式を使用		Off [デフォルト]
				On
	システム更新	自動		Off [デフォルト]
				On
		更新		
	内部ストレージ			
	アプリ			TapCast Pro、ブラウザー、LocalMM
	法的	利用規約		
		プライバシーポリシー		
		クッキーに関するポリシー		
	リセット			キャンセル [デフォルト]
				すべての設定のリセット
				既定にリセット
電源	電源検知オートパワーオン			Off [デフォルト]
				On
	信号検知オートパワーオン			Off [デフォルト]
				On
	自動電源オフ (分)			0 ~ 180 (5 分の増分) [デフォルト: 20]
	スリープタイマー (分)			Off ~ 990 (30 分の増分) [デフォルト: Off]
		常にON		On [デフォルト]
				Yes
	電源モード (スタンバイ)			アクティブ
				エコ [デフォルト]
				通信



# プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
コントロール	12Vトリガ			Off
				On [デフォルト]
	リモコン設定	リモコン受光設定		Off
				On [デフォルト]
		リモートコード		0 ~ 99
		F1		輝度
				コントラスト
				カラーマッチング
				色温度
				ガンマ [デフォルト]
				投影
				レンズシフト
		F2		輝度
				コントラスト [デフォルト]
				カラーマッチング
				色温度
				ガンマ
				投影
				レンズシフト
		F3		輝度 [デフォルト]
				コントラスト
				カラーマッチング
				色温度
				ガンマ
				投影
				レンズシフト
	プロジェクターID			0 ~ 99
	HDBaseT コントロール	RS232		Off [デフォルト]
				On

# プロジェクターを使用する

## メニューのパーソナライズ

### 壁紙

ランチャーのホーム壁紙を変更できます。

**注記:** カスタム壁紙の追加はサポートされていません。

### ホームショートカット

各入力ソースで、開いたすべてのアプリのホーム画面のショートカットを確認してください。「自動」オプションの場合を除き、項目を繰り返すことはできません。つまり、システムは、開かれた最新の最大 6 つのアプリを記憶し、アプリのショートカットを置き換え、アプリリストの中で、最後のアプリが最初のアプリになり、リスト内の他のアプリが 1 つの位置にシフトすることを意味します。

### 自動ソース

利用可能な入力源をプロジェクターに自動検出させるには、このオプションを選択します。

### 名前の入力

簡単に特定できるよう入力機能の名前を変更するために使用します。利用可能なオプションは、HDMI 1、HDMI 2、VGA、HDBaseT、USB、ホーム です。

## ネットワークメニュー

### イーサネット

有線ネットワーク設定を構成します。

#### 注記:

- 必ず、プロジェクターをローカルエリアネットワーク (LAN) に接続してください。
- Tapcast Pro、ブラウザー、システム更新 (FOTA)、日付および時刻の機能を使用する場合は、イーサネットが接続されていることを確認してください。
- ネットワーク情報:** ネットワーク接続状態を表示します (読み取り専用)。
- IP アドレス:** IP アドレスを表示します (読み取り専用)。
- MAC アドレス:** MAC アドレスを表示します (読み取り専用)。
- プロキシ設定:** 必要に応じて、プロキシホスト名、接続ポート、バイパスプロキシドメイン情報を手動で入力してください。
- IP 設定:** プロジェクターにネットワークから、IP アドレスやその他の接続パラメーターを取得させる場合は、DHCP を有効にしてください。IP アドレス、ゲートウェイ、ネットワークプレフィックス長、DNS パラメーターを手動で割り当てる場合は、DHCP を無効にしてください。
- リセット:** ネットワーク設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

### LAN制御

ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定を構成します。

**注記:** ProService Local、Crestron、Extron、PJLink、Tenlet、Web 管理を使用する前に、LAN に接続し、Web ブラウザーでパスワードを設定していることを確認してください。

- ネットワーク情報:** ネットワーク接続状態を表示します (読み取り専用)。
- MAC アドレス:** MAC アドレスを表示します (読み取り専用)。
- DHCP:** このオプションを利用し、DHCP 機能を有効または無効にします。
  - **Off:** IP、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS構成を手動で割り当てます。
  - **On:** プロジェクターがネットワークから自動的に IP アドレスを取得します。

**注記:** 既存の OSD が、入力した値を自動的に適用します。

# プロジェクターを使用する

- **IP アドレス:** IP アドレスを表示します。
- **サブネットマスク:** サブネットマスク番号を表示します。
- **ゲートウェイ:** プロジェクターに接続しているネットワークのデフォルト ゲートウェイを表示します。
- **DNS:** DNS 番号を表示します。
- **リセット:** LAN パラメーターのすべての値をリセットします。

## システムメニュー

### 言語

システム言語を英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、フィンランド語、ギリシャ語、デンマーク語、ノルウェー語、ポーランド語、ロシア語、簡体字中国語、繁体字中国語、韓国語、アラビア語、日本語、タイ語、ハンガリー語、チェコスロバキア語、トルコ語、ペルシア語、ベトナム語、インドネシア語、ルーマニア語から選択します。

### キーボード

キーボード言語を選択してください。

### 日付および時刻

日時設定を構成してください。

- **日付:** 日付を表示します (読み取り専用)。
- **時刻:** 時刻を表示します (読み取り専用)。
- **タイムゾーンの選択:** タイムゾーンを選択してください。
- **夏時間:** 夏時間を設定します。
- **24 時間形式を使用:** 24 時間フォーマットで時刻を表示する場合は、「On」に設定してください。12 時間フォーマット (AM / PM) で時刻を表示する場合は、「Off」に設定してください。

### システム更新

プロジェクターがインターネット (OTA) に接続されるとき、システムは、更新を自動的に検索します。

### 内部ストレージ

内部ストレージの使用状況を表示します。

### アプリ

アプリを構成します。オプションは次のとおりです: TapCast Pro、ブラウザー、LocalMM。

**注記:** ユーザーによるプロジェクターへのアプリの追加はサポートされていません。

### 法的

「利用規約」、「プライバシー ポリシー」、「クッキーに関するポリシー」を含む法的文書を確認してください。

**注記:** オンラインでも法的文書を確認できます。次の Web アドレスを参照してください:

- **利用規約:** <https://www.optoma.com/terms-conditions/>
- **プライバシー ポリシー:** <https://www.optoma.com/cookies-policy/>
- **クッキーに関するポリシー:** <https://www.optoma.com/software-privacy-policy/>

### リセット

データ (「すべての設定のリセット」) を含むすべて設定、または、設定のみ (「既定にリセット」) を工場出荷時デフォルト設定にリセットします。メニューを終了し、現在の構成を維持する場合は、「キャンセル」を選択してください。

**注記:** 「既定にリセット」を選択すると、プロジェクターは自動的にオフになります。復元手順を開始するには、プロジェクターの電源を入れてください。

# プロジェクターを使用する

## 電源メニュー

### 電源検知オートパワーオン

「On」を選択すると、電源検知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」ボタンを押す必要はありません。

### 信号検知オートパワーオン

「On」を選択すると、信号電源モードが有効になります。プロジェクターは、信号が検出されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

### 自動電源オフ (分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

### スリープタイマー (分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

### 電源モード (スタンバイ)

スタンバイ時の電源モード設定を構成します。

- **アクティブ:** 「アクティブ」を選択すると通常スタンバイに戻ります。
- **エコ:** 「エコ」を選択すると、節電モードになります (< 0.5W)。
- **通信:** プロジェクターは、電源スタンバイ時に LAN 端子を介して制御できます。

**注記:** これら 3 つの電源モード設定の違いは次のとおりです:

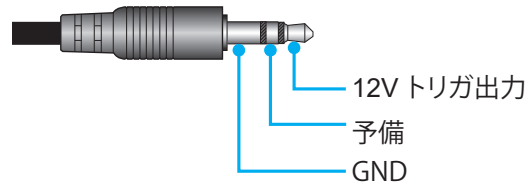
スタンバイモード	アクティブ	エコ	通信
RS232 電源ステータス	O	O	O
RS232 情報/ランプ/時間	O	O	O
電源オン (コマンド)			
キーパッドオン	O	O	O
IR オン	O	O	O
RS232 オン	O	O	O
LAN (ブラウザー)	O	X	O
HDBaseT (RS232 オン)	X	X	O
信号検知オートパワーオン(ビデオ信号)			
HDBaseT	X	X	X
HDMI 1/2	O	O	O
VGA	O	O	O
その他	X	X	X
LAN /イーサネットオン	O	X	O
HDMI 出力 (ループスルー)	X	X	X
HDMI AMP (ループスルー (プロジェクターはオンでない状態))	X	X	X
オーディオ出力 (ループスルー)	X	X	X
プロジェクターは外部ドライブに EDID 情報を提供できます	X	X	X
電源検知オートパワーオン	O	O	O

# プロジェクターを使用する

## コントロールメニュー

### 12V トリガ

この機能を使って、トリガを有効または無効にします。



- **Off:** 「Off」を選択するとトリガが無効になります。
- **On:** 「On」を選択するとトリガが有効になります。

### リモコン設定

- **リモコン受光設定:** リモコン受光設定を行います。
  - **Off:** 「Off」を選択すると、リモコンでプロジェクターを操作できます。「Off」を選択すると、キーパッドのキーを使用できるようになります。
  - **On:** 「On」を選択すると、上部および前面 IR レシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できます。
- **リモートコード:** リモート ID ボタンを 3 秒間押して、リモートカスタムコードを設定すると、リモートインジケータ (オフボタンの上) が点滅し始めます。次に、キーボードの数字キーを使用して 00 ~ 99 の数字を入力します。数字を挿入すると、リモートインジケータが 2 回すばやく点滅し、リモートコードが変更されたことを示します。
- **F1/F2/F3:** F1、F2、または F3 のデフォルト機能を 輝度 (F3 デフォルト)、コントラスト (F2 デフォルト)、カラーマッチング、色温度、ガンマ (F1 デフォルト)、投影、または レンズシフト から割り当てます。
- **プロジェクター ID:** ID 定義をメニュー (0~99まで) で設定できます。ユーザーは RS232 コマンドを使って、個別のプロジェクターをコントロールできるようになります。
- **HDBaseT コントロール:** 「On」を選択して、シリアルポートパスを RS232 に設定します。



# プロジェクターを使用する

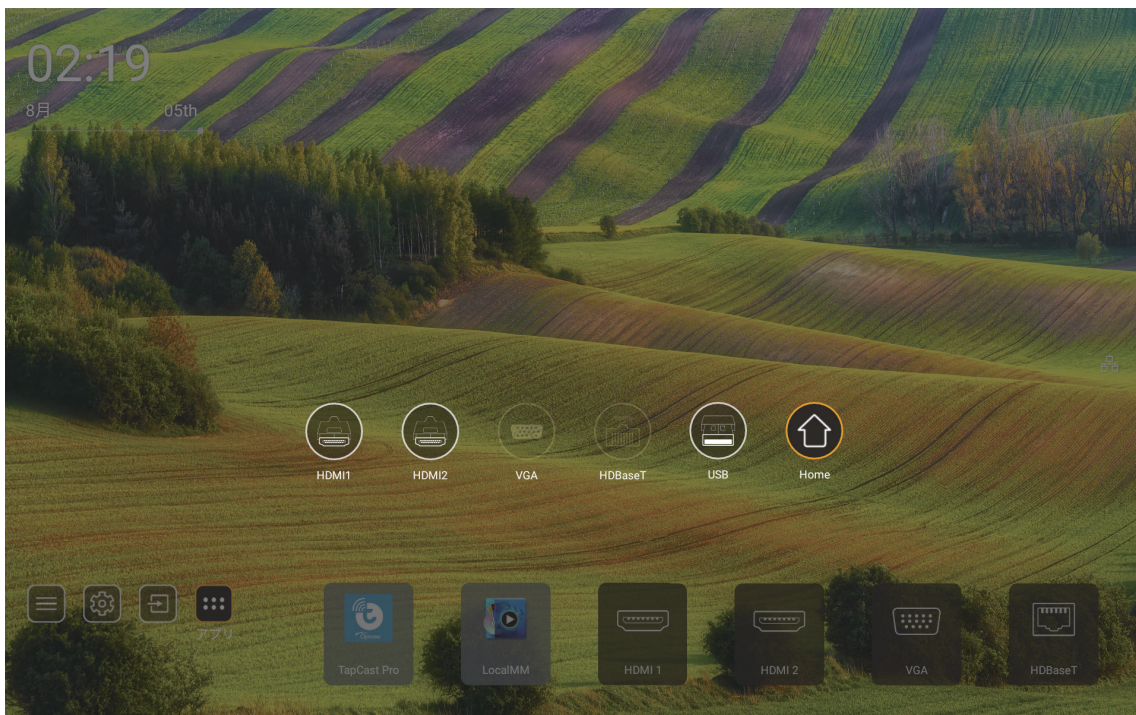
## 入力ソースを選択する

入力ショートカットを使用して、ホーム画面上で直接入力ソースを選択できます。

**注記:** ショートカット設定を「システム 設定メニュー」→「パーソナライズ」→「ホームショートカット」でパーソナライズできます。また、ホーム画面上のショートカットの順序を変更できます。



希望の入力ソースが、ホーム画面上に表示されない場合は、「」を選択して、すべての入力オプションを表示してください。次に、入力ソースを選択するか、「ホーム」を選択して、ホーム画面に戻ってください。



**注記:** プロジェクターは、入力ソースが検出されたとき、入力切替確認メッセージを通知して、現在検出された入力ソースに自動または手動で切り替えるように設定できます。52 ページを参照してください。キーパッドコントロールで終了するホットキー。OSD メニューツリーのない入力ソースの場合、それを押すとすべての入力ソースが表示されます。

# プロジェクターを使用する

## アプリの選択

アプリショートカットを使用して、ホーム画面上で直接アプリを選択できます。

**注記:** ショートカット設定を「システム 設定メニュー → パーソナライズ → ホームショートカット」でパーソナライズできます。



希望のアプリが、ホーム画面上に表示されない場合は、「」を選択して、すべてのインストール済アプリを表示してください。次に、希望のアプリを選択してください。








**注記:** アプリに関して、日本国内では動作を保証していません。

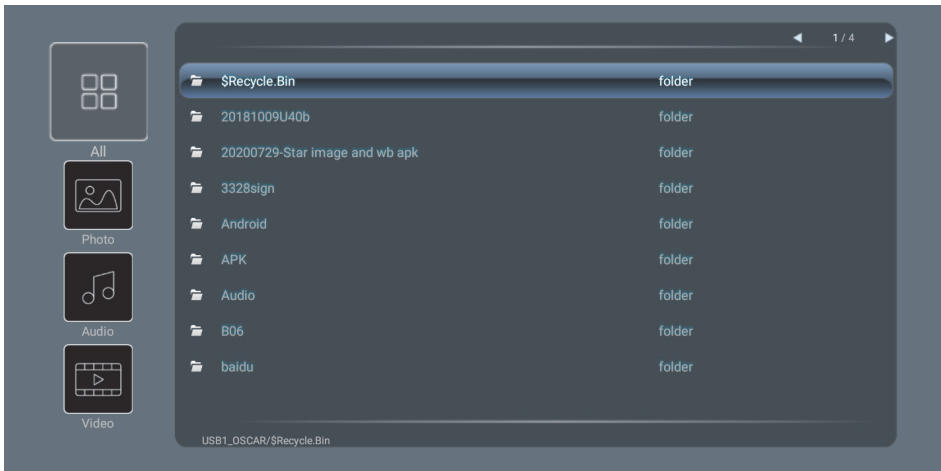


# プロジェクターを使用する





## マルチメディアモードとサポートされているマルチメディア形式

マルチメディアファイルを再生する場合は、マルチメディアコンテンツを含む USB ストレージをプロジェクターに接続してください。次に、マルチメディアプレーヤーを開き、再生する希望のファイルを選択してください。

- 1. リモコンの「USB」ボタンを押すか、「ソース」ボタンを押してソースメニューを表示し、USB アイコンを選択してアクセスします。
- 2. 「」ボタンを押して、マルチメディアメインメニューに戻ります。
- 3. , , ,  および Enter ボタンを押して、機能を選択/実行します。



### 分類:

項目		説明
	全部	USB デバイスに保存されているすべてのファイルを表示します
	写真	USB デバイスに保存されている写真ファイルのみを表示します
	オーディオ	USB デバイスに保存されているオーディオファイルのみを表示します
	ビデオ	USB デバイスに保存されているビデオファイルのみを表示します












**注記:** マルチメディアモードは、VGA および HDMI 入力ソースには適用されません。



# プロジェクターを使用する

## 写真の再生:



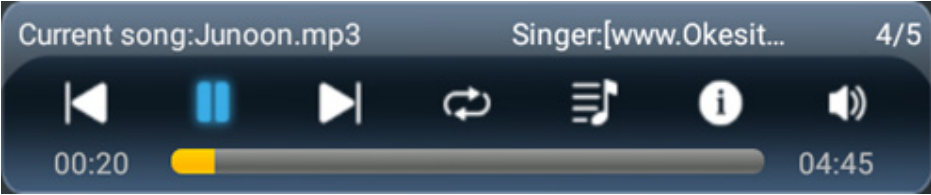
項目		説明
	バック	再生リストの前のファイルにスキップします。
	再生	再生を開始または再開します。 アイコンは、アクティブ化されると  アイコンになります。
	一時停止	再生を一時停止します。 アイコンは、アクティブ化されると  アイコンになります。
	早送り	次のファイルにスキップします。
	ズームイン	写真をズームインします。
	ズームアウト	写真をズームアウトします。
	左に回転	写真を反時計回りに 90 度回転します。
	右に回転	写真を時計回りに 90 度回転します。
	情報	現在のファイルの写真情報を開きます。


## 写真サポートリスト:

画像タイプ (Ext 名)	サブタイプ	最大ピクセル
JPEG	ベースライン	8000 x 8000
	プログレッシブ	6000 x 4000
BMP		6000 x 4000

# プロジェクターを使用する

## オーディオ再生:



項目		説明
	バック	再生リストの前のファイルにスキップします。
	再生	再生を開始または再開します。 アイコンは、アクティブ化されると  アイコンになります。
	一時停止	再生を一時停止します。 アイコンは、アクティブ化されると  アイコンになります。
	早送り	次のファイルにスキップします。
	サイクル	再生サイクルモードを切り替えます: すべて繰り返す/1 回繰り返す/ランダム
	再生リスト	再生リストを開きます。 <ul style="list-style-type: none"><li>•  ボタンを押して再生リスト内のファイルを選択し、「Enter」ボタンを押して実行します。</li><li>•  ボタンを押して、再生リスをを終了します。</li></ul>
	情報	現在のファイルのオーディオ情報を開きます。
	音量	音量バーを開いて、再生音量出力を調整します。
	音量バー	 /  ボタンを押して、音量レベルを上下します。

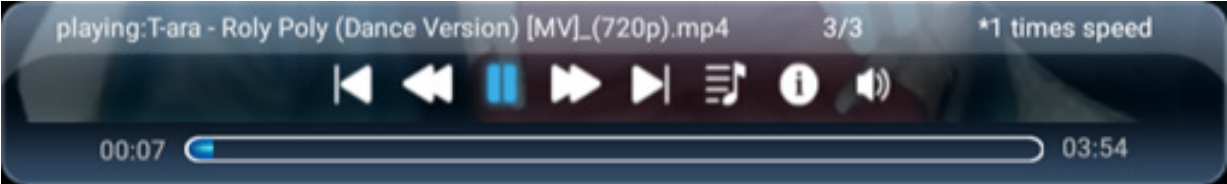
# プロジェクターを使用する

オーディオサポートリスト:

メディアカテゴリ	デコーダー	サポートするファイル形式
オーディオ	MPEG1/2 Layer1	MP3 (.mp3)
		AVI (.avi)
		MP4 (.mp4、.mov、.m4a)
		MPEG 転送ストリーム (.ts、.trp、.tp)
		MPEG プログラムストリーム (.DAT、.VOB、.MPG、.MPEG)
	MPEG1/2 Layer2	MP3 (.mp3)
		AVI (.avi)
		Matroska (.mkv、.mka)
		MP4 (.mp4、.mov、.m4a)
		MPEG 転送ストリーム (.ts、.trp、.tp)
		MPEG プログラムストリーム (.DAT、.VOB、.MPG、.MPEG)
	MPEG1/2/2.5 Layer3	MP3 (.mp3)
		Matroska (.mkv、.mka)
		MP4 (.mp4、.mov、.m4a)
		MPEG 転送ストリーム (.ts、.trp、.tp)
		MPEG プログラムストリーム (.DAT、.VOB、.MPG、.MPEG)
	AAC、HEAAC	AAC (.aac)
		MP4 (.mp4、.mov、.m4a)
		MPEG 転送ストリーム (.ts、.trp、.tp)
		MPEG プログラムストリーム (.DAT、.VOB、.MPG、.MPEG)
	LPCM	WAV (.wav)
		AVI (.avi)
		Matroska (.mkv、.mka)
		MP4 (.mp4、.mov、.m4a)
		MPEG 転送ストリーム (.ts、.trp、.tp)
		MPEG プログラムストリーム (.DAT、.VOB、.MPG、.MPEG)
	IMA-ADPCM MS-ADPCM	WAV (.wav)
		AVI (.avi)
		Matroska (.mkv、.mka)
		MP4 (.mp4、.mov、.m4a)

# プロジェクターを使用する

## ビデオ再生:



項目		説明
	バック	再生リストの前のファイルにスキップします。
	高速巻き戻し	1x/2x/4x/8x/16x/32x 再生速度で高速巻き戻しを行います。
	再生	再生を開始または再開します。 アイコンは、アクティブ化されると  アイコンになります。
	一時停止	再生を一時停止します。 アイコンは、アクティブ化されると  アイコンになります。
	高速早送り	1x/2x/4x/8x/16x/32x 再生速度で高速早送りをを行います。
	早送り	次のファイルにスキップします。
	再生リスト	再生リストを開きます。 <ul style="list-style-type: none"><li>↑ / ↓ ボタンを押して再生リスト内のファイルを選択し、「Enter」ボタンを押して実行します。</li><li>↶ ボタンを押して、再生リスをを終了します。</li></ul>
	情報	現在のファイルのオーディオ情報を開きます。
	音量	音量バーを開いて、再生音量出力を調整します。
	音量バー	↑ / ↓ ボタンを押して、音量レベルを上下します。

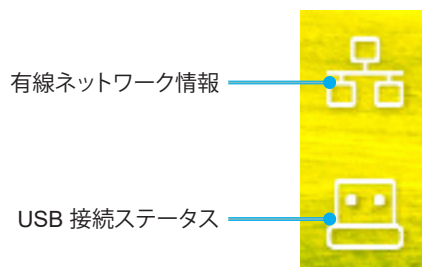
## ビデオサポートリスト:

画像タイプ (Ext 名)	サブタイプ	最大ピクセル
ビデオ	MPEG1/2	MPEG プログラムストリーム (.DAT、.VOB、.MPG、.MPEG)
	MPEG4	MP4 (.mp4、.mov)
		AVI (.avi)
	H.264	MP4 (.mp4、.mov)
		AVI (.avi)
	VC1	WMV (.wmv)
	Motion JPEG	AVI (.avi)

# プロジェクターを使用する

## ステータスバーの表示

デフォルトでは、ホーム画面のステータスバーには、有線ネットワークと USB (該当する場合) に関する接続ステータスを示すアイコンが含まれています。アイコンを選択して、関連するメニューを開くことができます。有線ステータスアイコンを選択すると、ネットワーク構成メニューが開きます。また、USB ステータスアイコンを選択すると、ブラウザが開き、接続される USB デバイスの内容が表示されます。



# 追加情報

## 対応解像度

### デジタル

確立されたタイミング	標準タイミング	ディスクリプターの タイミング	サポートされるビデオモード	詳細タイミング
720 x 400 @ 70Hz	1280 x 800 @ 60Hz 16 : 10	WU: 1920 x 1200 @ 60Hz	640 x 480p @ 60Hz 4 : 3	1280 x 720P @ 60Hz
640 x 480 @ 60Hz	1280 x 960 @ 60Hz 4 : 3		720 x 480p @ 60Hz 4 : 3	720 x 480P @ 60
640 x 480 @ 72Hz	1400 x 1050 @ 60Hz 4 : 3		720 x 480p @ 60Hz 16 : 9	1920 x 1080P @ 60Hz
640 x 480 @ 75Hz	1600 x 1200 @ 60Hz 4 : 3		1280 x 720p @ 60Hz 16 : 9	720 x 576P @ 50
800 x 600 @ 56Hz	1440 x 900 @ 60Hz 16 : 10		1920 x 1080p @ 60Hz 16 : 9	
800 x 600 @ 60Hz	1280 x 720 @ 120Hz 16 : 9		720 x 576p @ 50Hz 4 : 3	HDMI 2.0 のみ
800 x 600 @ 72Hz	1024 x 768 @ 120Hz 4 : 3		720 x 576p @ 50Hz 16 : 9	3840 x 2160P @ 60 Hz
800 x 600 @ 75Hz	1680 x 1050 @ 60Hz 16 : 10		1280 x 720p @ 50Hz 16 : 9	
832 x 624 @ 75Hz			1920 x 1080P @ 50Hz 16 : 9	
1024 x 768 @ 60Hz			1920 x 1080p @ 24Hz 16 : 9	
1024 x 768 @ 70Hz			1280 x 720p @ 120Hz 16 : 9	
1024 x 768 @ 75Hz				
1280 x 1024 @ 75Hz			HDMI 2.0 のみ	
1152 x 870 @ 75Hz			3840 x 2160p @ 24 Hz 16 : 9	
			3840 x 2160p @ 25 Hz 16 : 9	
			3840 x 2160p @ 30 Hz 16 : 9	
			3840 x 2160p @ 50 Hz 16 : 9	
			3840 x 2160p @ 60 Hz 16 : 9	
			4096 x 2160p @ 24 Hz 256 : 135	
			4096 x 2160p @ 25 Hz 256 : 135	
			4096 x 2160p @ 30 Hz 256 : 135	
			4096 x 2160p @ 50 Hz 256 : 135	
			4096 x 2160p @ 60 Hz 256 : 135	

# 追加情報

## アナログ

確立されたタイミング	標準タイミング	ディスクリプターの タイミング	サポートされるビデオモード	詳細タイミング
720 x 400 @ 70Hz	1080P/UW:	WU: 1920 x 1200 @ 60Hz		
640 x 480 @ 60Hz	1280 x 800 @ 60Hz 16 : 10			
640 x 480 @ 72Hz	1280 x 960 @ 60Hz 4 : 3			
640 x 480 @ 75Hz	1400 x 1050 @ 60Hz 4 : 3			
800 x 600 @ 56Hz	1600 x 1200 @ 60Hz 4 : 3			
800 x 600 @ 60Hz	1440 x 900 @ 60Hz 16 : 10			
800 x 600 @ 72Hz	1280 x 720 @ 120Hz 16 : 9			
800 x 600 @ 75Hz	1024 x 768 @ 120Hz 4 : 3			
832 x 624 @ 75Hz	1680 x 1050 @ 60Hz 16 : 10			
1024 x 768 @ 60Hz				
1024 x 768 @ 70Hz				
1024 x 768 @ 75Hz				
1280 x 1024 @ 75Hz				
1152 x 870 @ 75Hz				

注記: 1920 x 1080 @ 50Hz をサポートします。

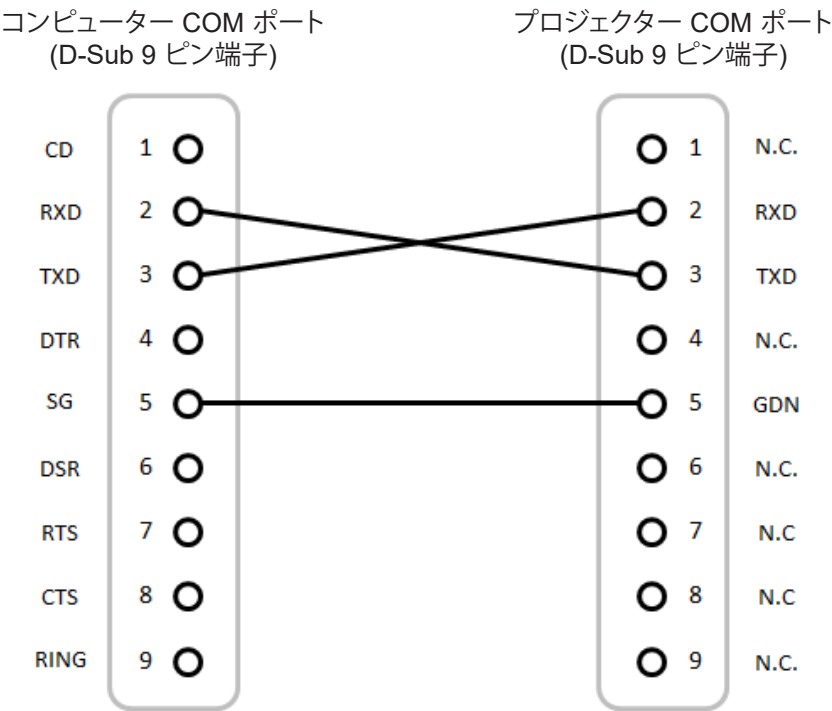
# 追加情報

## RS232 ポート設定と信号接続

### RS232 ポート設定

項目	方法
通信方法	非同期通信
ビット/秒	9600
データビット	8 ビット
パリティ	なし
停止ビット	1
フロー制御	なし

### RS232 信号接続

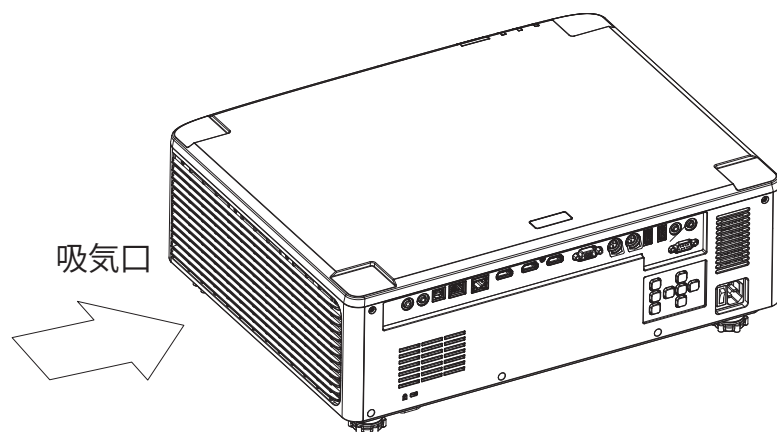


**注記:** RS232 シェルは接地されます。



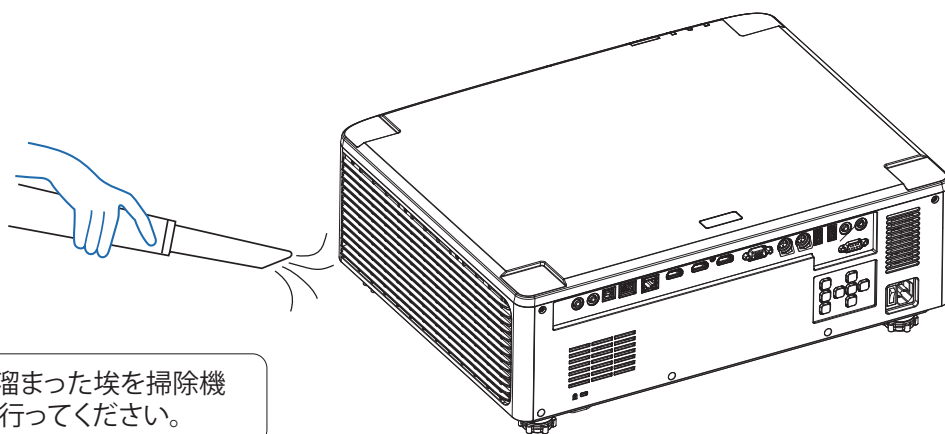
# 追加情報

## ダストの掃除



### ダストの掃除

ダストの掃除を3ヶ月ごとに実施することをお勧めします。埃の多い環境でプロジェクターを使用する場合は頻度を多くしてください。



# 追加情報

## イメージサイズと投写距離表

アスペクト比 16：10 画面サイズ	イメージサイズ m		投写距離 (D) m		レンズシフト m			
	幅(W)	高さ(H)	最短 (ワイド)	最長 (テレ)	水平∠H (25%)	垂直∠V (55%)	水平∠Ho (4%)	垂直∠Vo (12%)
40	0.861	0.538	1.17	2.16	±0.22	±0.30	±0.03	±0.06
60	1.292	0.808	1.78	3.26	±0.32	±0.44	±0.05	±0.10
80	1.723	1.077	2.38	4.36	±0.43	±0.59	±0.07	±0.13
100	2.154	1.346	2.99	5.46	±0.54	±0.74	±0.09	±0.16
110	2.369	1.481	3.29	6.01	±0.59	±0.81	±0.09	±0.18
120	2.584	1.615	3.60	6.56	±0.65	±0.89	±0.10	±0.19
130	2.800	1.750	3.90	7.11	±0.70	±0.96	±0.11	±0.21
140	3.015	1.884	4.20	7.66	±0.75	±1.04	±0.12	±0.23
150	3.231	2.019	4.51	8.21	±0.81	±1.11	±0.13	±0.24
160	3.446	2.154	4.81	8.76	±0.86	±1.18	±0.14	±0.26
180	3.877	2.423	5.42	9.87	±0.97	±1.33	±0.16	±0.29
200	4.307	2.692	6.03	10.97	±1.08	±1.48	±0.17	±0.32
250	5.384	3.365	7.54	13.72	±1.35	±1.85	±0.22	±0.40
300	6.461	4.038	9.06	16.47	±1.62	±2.22	±0.26	±0.48

※アスペクト比16：10（WUXGA）映写時の距離です。投写距離は実際の距離と誤差のある場合があります。（許容誤差±5%）

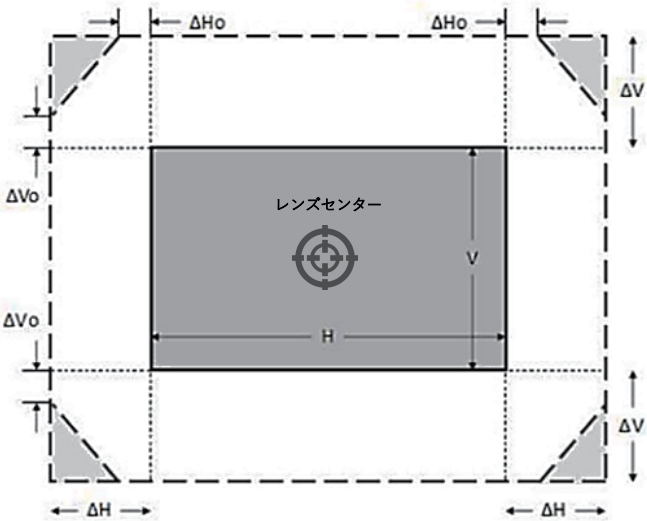
# 追加情報

## イメージサイズと投写距離表

アスペクト比 16：9 画面サイズ	イメージサイズ m		投写距離（D） m		レンズシフト m			
	幅(W)	高さ(H)	最短（ワイド）	最長（テレ）	水平∠H（25%）	垂直∠V（61%）	水平∠Ho（4%）	垂直∠Vo（14%）
40	0.884	0.498	1.20	2.22	±0.22	±0.30	±0.04	±0.07
60	1.326	0.747	1.83	3.35	±0.33	±0.46	±0.05	±0.10
80	1.768	0.996	2.45	4.48	±0.44	±0.61	±0.07	±0.14
100	2.210	1.245	3.08	5.62	±0.55	±0.76	±0.09	±0.17
110	2.431	1.370	3.39	6.18	±0.61	±0.84	±0.10	±0.19
120	2.652	1.494	3.70	6.75	±0.66	±0.91	±0.11	±0.21
130	2.873	1.619	4.01	7.31	±0.72	±0.99	±0.11	±0.23
140	3.094	1.743	4.32	7.88	±0.77	±1.07	±0.12	±0.24
150	3.315	1.868	4.64	8.44	±0.83	±1.14	±0.13	±0.26
160	3.536	1.992	4.95	9.01	±0.88	±1.22	±0.14	±0.28
180	3.978	2.241	5.57	10.14	±0.99	±1.37	±0.16	±0.31
200	4.420	2.491	6.19	11.27	±1.11	±1.52	±0.18	±0.35
250	5.525	3.113	7.75	14.10	±1.38	±1.90	±0.22	±0.44
290	6.420	3.611	9.00	16.37	±1.61	±2.21	±0.26	±0.51

※アスペクト比16：9（FHD）映写時の距離です。投写距離は実際の距離と誤差のある場合があります。（許容誤差±5%）

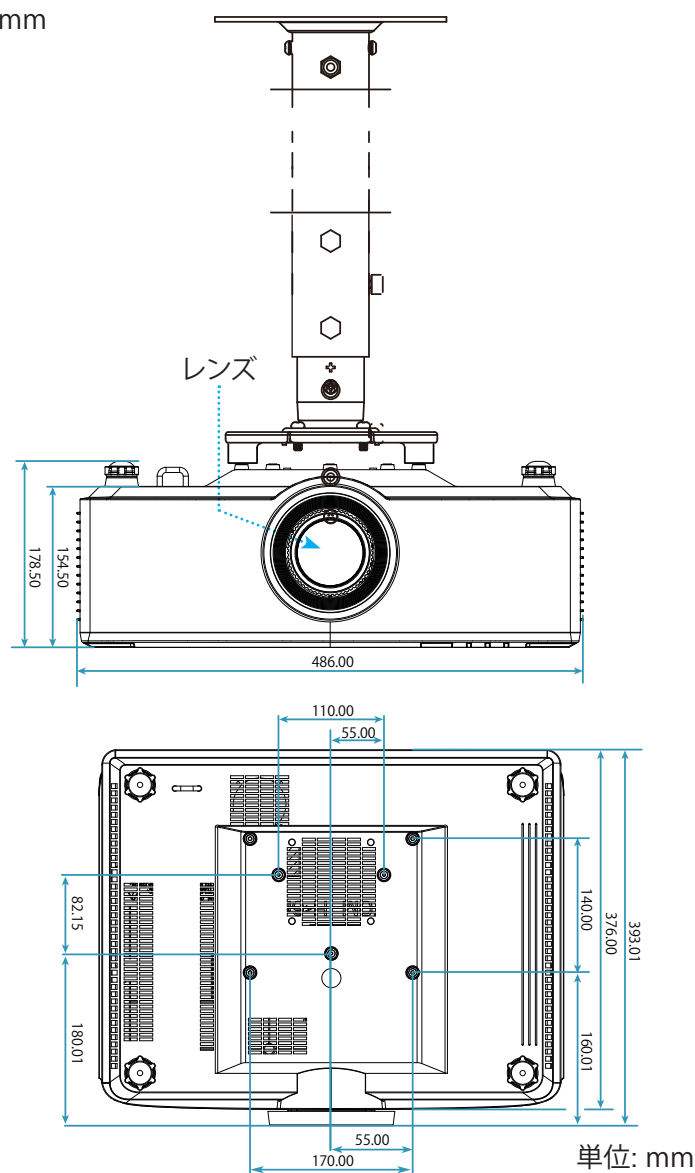
Z U720T	レンズシフト範囲			
	水平∠H	垂直∠V	水平∠Ho	垂直∠Vo
16：10	±25%	±55%	±4%	±12%
16：9	±25%	±61%	±4%	±14%



# 追加情報

## 天井への取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ず、オーエスの天吊り用プロジェクター取付金具を使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。
  - ネジの種類: M4×4
  - 最小ネジ長: 10 mm



**注記:** プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。



**警告:**

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。
- 油や煙の多い環境でご使用になると本体ケースの劣化破損によりプロジェクターが落下する危険性があります。そのような場所に設置しないでください。

# 追加情報

## トラブルシューティング

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

### 画像の問題

#### スクリーンに画像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、16 ページ に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。



#### 画像のピントが合っていない

- 投影画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。68 ページを参照してください。
- 画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。21 ページを参照してください。

#### 16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィック DVD または 16:9 DVD を再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で 16: 9 フォーマットで最高の画像を表示します。
- 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 としてフォーマットを変更してください。
- お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

#### 画像が大きすぎるか、小さすぎる

- プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
- リモコンの「」を押して、「OSD メニュー → ディスプレイ → アスペクト比」に進んでください。別の設定を試してみます。
- リモコンの「」を押して、「OSD メニュー → ディスプレイ → 幾何学補正 → ワープ校正」に進んでください。別の設定を試してみます。

#### 画像が横に傾く:

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。

#### 画像が反転する

- 「OSD メニュー → セットアップ → プロジェクションモード」を選択し、投影方向を調整してください。

#### 音が鳴りません

- サポートされるオーディオファイル形式 (58 ページ) を参照してください。
- 「消音」機能がオンに設定されていないか確認してください。

# 追加情報

## ❓ HDMI 画像が異常です

- 「OSD メニュー → ディスプレイ → HDMI 設定 → EDID → HDMI 1 EDID → 1.4 または 2.0」を選択します。

## ❓ ぼやけた二重画像

- 「OSD メニュー → 3D → 3D 技術」がオンではなく、通常の 2D 画像がぼやけた二重画像を表示しないことを確認してください。

## ❓ 2つの画像、サイドバイサイドフォーマット

- 「OSD メニュー → 3D →」の「3D 映像フォーマット」を「SBS」に設定してください。

# その他の問題

## ❓ プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

# リモコンの問題

## ❓ リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから  $\pm 15^\circ$  以上ずれていないことを確認します。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 投影画像に向けることにより、リモコン操作を試みてください。
- 電池が消耗したら交換してください。

# 追加情報

## LED 点灯メッセージ

ステータス	ライト LED	電源		温度 LED
	赤	赤	緑	赤
スタンバイ	該当なし	点灯	該当なし	該当なし
パワーオン	該当なし	該当なし	点灯	該当なし
警告スタート	該当なし	点滅 (1 秒オフ / 1 秒オン)	該当なし	該当なし
冷却開始	該当なし	該当なし	点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)	該当なし
AV 消音	点滅 (1 秒オフ / 1 秒オン)	該当なし	点灯	該当なし
エラー (電源が異常です)	点灯	該当なし	該当なし	点灯
エラー (ファンが異常です)	該当なし	該当なし	該当なし	点滅 (3 秒オン / 3 秒オフ)
エラー (カラーホイール破損)	該当なし	該当なし	該当なし	点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)
エラー (過熱)	該当なし	該当なし	該当なし	点灯
エラー (LD 過熱)	該当なし	該当なし	該当なし	点灯
エラー (LD 電圧が異常です)	点灯	該当なし	該当なし	該当なし
エラー (温度センサー切断)	点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)	点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)	該当なし	該当なし
エラー (LD が異常です)	点灯	該当なし	点灯	該当なし
アップグレードプロセス	点滅 (3 秒オフ / 3 秒オン)	点滅 (3 秒オフ / 3 秒オン)	点滅 (3 秒オフ / 3 秒オン)	点滅 (3 秒オフ / 3 秒オン)

**注記:** プロジェクターがアップグレードプロセスに入ると 10 分間消灯し、すべての LED が点滅します (3 秒オフ/3 秒オン)。

# 追加情報

## 仕様

光学	説明		
レンズタイプ	1.8x		
スロー比	1.44 ～ 2.59		
最大解像度	WUXGA		
ズームおよびフォーカス調整	手動		
画像サイズ (対角)	40 インチ～ 300 インチ		
投影距離	1.17~16.47m		

電気	説明		
入力	-HDMI 1 v2.0/4K -HDMI 2 v1.4a -VGA 入力 -3D 同期入力 -HDBaseT -オーディオ入力 3.5mm		
出力	-HDMI 出力 -3D 同期出力 (電源 5V 用) -オーディオ出力 3.5mm -12V 出力端子 -USB Type-A x2 (電源 USB 5V/1.8A 用)		
コントロール	-有線 IR -RJ-45 (Web コントロールをサポート) -サービス端子 -RS232		
色再現	10 億 7340 万色		
スキャン速度	-水平スキャン速度: 15.38 ～ 91.15 KHz -垂直スキャン速度: 24 ～ 85 Hz (3D 機能の場合 120 Hz)		
内蔵スピーカー	2x 10W スピーカー		
電力要件	100 ～ 240 V ±10%、AC 50/60Hz		
入力電流	6.3A		
取り付け方向	正面、裏面、正面 - 上部、裏面 - 上部		
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	-480 x 376 x 155 mm (突起部含まず) -486 x 393 x 179 mm (突起部含む)		
重さ	約12.7Kg		
環境条件	5 ～ 40° C、10% ～ 85% 湿度 (結露なし) で動作		

**注記:** 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。



## 保証書

型 式	ZU720T		
★シリアル番号			
★ご購入日	年 月 日	保証期間	ご購入から1年間

★お客様	ご住所	
	お名前/電話番号	様 TEL ( )
★販売店	住所/販売店名	TEL ( )

ご販売店様へ 上記★印欄は必ず記入してお渡してください。

### 無料修理規定

※本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名が記入されているかお確かめください。  
万一記入が無い場合は直ちに買い上げ取扱店にお申し出ください。

- 保証期間内であっても次の場合は有償修理となります。
  - この保証書のご提示がない場合。
  - 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名の記入がない場合。
  - ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
  - お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
  - 火災や天災等による故障および損傷。
  - 消耗品および付属品の交換の場合。
- その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し上げます。
- 本機は、レーザ光源のためランプの保証期間は、ありません。  
※異常が発生しましたらオーエス テクニカルサポートセンターまでご連絡ください。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。  
Effective only Japan
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。  
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。  
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、下記テクニカルサポートセンター  
または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 販売元 株式会社オーエスエム

連絡先: 株式会社オーエス テクニカルサポートセンター  
〒557-0063 大阪市西成区南津守 6-5-53



TEL 0120-465-040 FAX 0120-380-496

(受付時間: 平日9:00~17:50 土日祝日を除く)

E-mail: info@os-worldwide.com

WEB <https://www.optoma.jp>

